

Honeywell



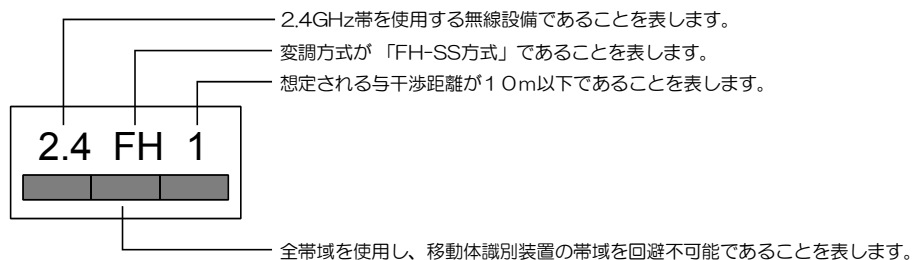
エリアイメージャ 取扱説明書

MODEL Xenon 1900 Series
MODEL Xenon 1902 Series
MODEL Genesis 7580 Series

「電波について」

■ 電波に関する注意 ■

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。
電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。



改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	2010/06/01（初版）
Rev.1.1	2010/09/30 4.5 頁 DOS/V キーボードインターフェイスの初期化コマンドバースコードを修正
Rev.1.2	2010/11/16 4.21 頁 充電専用モード、充電&無線リチャージモードコマンドバースコードを追加
Rev.1.3	2011/02/15 5.5 頁 T:トリガ待ち、G:ガイに注釈を追加
Rev.1.4	2011/03/30 4.71 頁 ISBT に関する脚注削除
Rev.1.5	2011/04/20 2.1 頁 ACアダプタ接続時の注意を追加
Rev.1.6	2011/05/25 4.56 頁 全ファックス CR(キャリッジリターン) コマンドバースコードを修正 4.57 頁 対象ファックス/ガリックスコマンドバースコードを追加 4.58 頁 データ送信シーケンスコマンドバースコードを修正
Rev.1.7	2011/10/25 4.41 頁 「4.8.6 携帯電話液晶読取モードの設定」の説明を修正
Rev.1.8	2011/11/14 4.41 頁 「4.8.7 イメージスナップ&スキャンの設定」のコマンドバースコード及び説明を修正
Rev.1.9	2012/05/21 4.34 頁 プリザー音量デフォルト値「大」に修正
Rev.2.0	2013/07/10 4.26 頁 デフォルト値を通信圏外メモリ機能に修正
Rev.2.1	2013/07/18 7580g に対応

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、下記の通りです。

Xenon 1900 シリーズ	弊社出荷日より 5 年間
Xenon 1902 シリーズ	弊社出荷日より 3 年間
Genesis780 シリーズ	弊社出荷日より 2 年間

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

1. 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
2. 故障の原因が納入者以外の事由に場合
3. 外装部品の損傷
4. 需要者側で改造・修理を行った場合
5. 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「FCC クラス B 適合について」

本装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠するクラス B デジタル機器に対する制限に適合しております。これらの制限は、商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、居住地域に設置した場合、ラジオ・テレビなどへの妨害（受信障害）が起こることがあります。

「CE マークについて」

本装置に付いている CE マークは、2004/108/EC EMC に記載された EN55022:CLASS B, EN55024, EN61000-3-2, EN610003-3 規制に適合していることを示しています。また、弊社指定電源との出荷により、2006/95/EC Low Voltage Directive にも適合します。

「LED の安全性について」

EN60825-1

本装置は、IEN60825-1 LED 安全規格に従ってテストされ、クラス 1 LED 装置の制限内であることが確認されています。

「Bluetooth 無線機器について」

Bluetooth 搭載イメージャは、アメリカ電気・電子通信学会(IEEE)と米国規格協会(ANSI)が作成し、連邦通信委員会(FCC)によって採用が勧告されている RF 技術の安全レベルについて該当する最新規格に適合するように設計されています。

承認国	仕様
日本	TELEC
中国	SRRC
韓国	RR
台湾	DTG

「修理」

修理は全てリターン方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「その他」

納入品の価格にはサービス費用は一切含んでおりません。

Blank page

安全上のご注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。



警告

- 本装置を絶対に分解しないで下さい。・故障・感電（火災）の原因になります。



- 直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器など発熱物の近くでは使用しないで下さい。・故障・感電（火災）の原因になります。



- ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引っ張ったりしないで下さい。・ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



- 引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。・火災・爆発・故障の原因になります。



- 故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにしコネクタを抜いて下さい。・感電（火災）の原因になります。





注意

■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。

・故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。

・故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。

・故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。

・装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。

・不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。

・ケースの変形や変色の原因になります。



Blank page

Index

1.	はじめに.....	1.1
1.1	ご使用上の注意.....	1.1
1.2	梱包内容の確認.....	1.1
1.3	ワイヤレスイメージャのLED・ビーム・フックインデキータ.....	1.2
1.4	イメージャを充電する.....	1.3
1.5	ワイヤレスイメージャの充電電池パックを交換する.....	1.4
2.	イメージャとPCと接続する.....	2.1
2.1	RS232C インターフェイスで接続する.....	2.1
2.2	キーボード インターフェイスで接続する.....	2.2
2.3	USB インターフェイスで接続する.....	2.3
2.5	ワイヤレスイメージャとベースステーションのリクを確立する.....	2.4
3.	イメージャの読み取り操作.....	3.1
3.1	イメージャの読み取り操作.....	3.1
4.	パラメータ設定.....	4.1
4.1	システムマント.....	4.1
4.2	イメージャの簡単セットアップ.....	4.3
4.2.1	ワイヤレスイメージャの初期化.....	4.3
4.2.2	RS232C インターフェイスの初期化.....	4.4
4.2.3	DOS/V キーボード インターフェイスの初期化.....	4.5
4.2.4	USB キーボード インターフェイスの初期化.....	4.6
4.2.5	USB バイチャル COM インターフェイスの初期化.....	4.7
4.2.6	プリフィックス/サフィックスの初期化.....	4.8
4.3	ターミナル ID.....	4.13
4.4	キーボード インターフェイス.....	4.14
4.4.1	キーボード カトリの設定.....	4.14
4.4.2	CAPS LOCK の設定.....	4.14
4.4.3	キーボード 動作モード の設定.....	4.15
4.5	RS232C インターフェイス.....	4.16
4.5.1	ポートの設定.....	4.16
4.5.2	データフォーマットの設定.....	4.17
4.5.3	RTS/CTS ハンドシェイクの設定.....	4.18
4.5.4	XON/XOFF ハンドシェイクの設定.....	4.19
4.5.5	ACK/NAK ハンドシェイクの設定.....	4.19
4.6	USB バイチャル COM インターフェイス.....	4.20
4.6.1	RTS/CTS ハンドシェイクの設定.....	4.20
4.6.2	ACK/NAK ハンドシェイクの設定.....	4.20
4.7	Bluetooth インターフェイス.....	4.21
4.7.1	ベースステーション接続の設定.....	4.21
4.7.2	FIPS 暗号化インデキータの設定.....	4.22
4.7.3	自動再リクの設定.....	4.23
4.7.4	通信圏外アラームの設定.....	4.24
4.7.5	Bluetooth パワーの設定.....	4.25
4.7.6	通信圏外メモリ機能パッチモード の設定.....	4.26
4.7.7	ワイヤレスイメージャ名の設定.....	4.29
4.7.8	ワークグループ 番号の設定.....	4.31
4.7.9	SPP 接続の設定.....	4.32

4.7.10	ホスト ESC コマンド の設定	4.33
4.8	インデクサー	4.34
4.8.1	グッド リード フォー の設定	4.34
4.8.2	エラー フォー の設定	4.36
4.8.3	グッド リード LED の設定	4.37
4.8	イメージ オブジェクション	4.38
4.8.1	マニュアル リアルタイム モード の設定	4.38
4.8.2	パワー タイムアウト の設定	4.40
4.8.3	スタンバイ 検知 センサー の設定	4.40
4.8.4	プレゼンテーション モード の設定	4.41
4.8.5	ストリーミング プレゼンテーション モード の設定	4.44
4.8.6	携帯電話 液晶 読取 モード の設定	4.44
4.8.7	CodeGate® の設定	4.45
4.8.8	イメージ スナップ & ショップ の設定	4.45
4.8.9	二次元コード 読取 デレイ の設定	4.45
4.8.10	同一コード 読取 デレイ の設定	4.46
4.8.11	コード 読取 デレイ の設定	4.47
4.8.12	照明 LED/エラー の設定	4.48
4.8.13	パワーダウン タイムアウト の設定	4.49
4.8.14	センタリング ウィンドウ の設定	4.50
4.8.15	マルチコード 読み取り の設定	4.52
4.8.16	シンボル 優先順位 読み取り の設定	4.53
4.8.17	反転コード 読み取り の設定	4.55
4.9	データ送信	4.56
4.9.1	ホスト 送信 の設定	4.56
4.9.2	ファンクションコード 送信 の設定	4.56
4.9.3	キャラクタ間 デレイ の設定	4.57
4.9.4	指定キャラクタ デレイ の設定	4.58
4.9.5	ファンクション間 デレイ・メッセージ間 デレイ の設定	4.59
4.9.6	プリフィックス/サフィックス の設定	4.60
4.9.7	データ送信 シーケンス の設定	4.62
4.10	リニアシンボル(バーコード)の読み取り設定	4.64
4.10.1	コードバー(NW7)の設定	4.64
4.10.2	コード 39 の設定	4.66
4.10.3	インターリーブド 2/5 の設定	4.68
4.10.4	NEC 2/5 の設定	4.69
4.10.5	コード 93 の設定	4.70
4.10.6	ストレート 2/5 の設定	4.71
4.10.7	IATA 2/5 の設定	4.72
4.10.8	マトリクス 2/5 の設定	4.73
4.10.9	コード 11 の設定	4.74
4.10.10	コード 128 の設定	4.75
4.10.11	GS1-128 の設定	4.76
4.10.12	Telepen の設定	4.77
4.10.13	UPC-A の設定	4.78
4.10.14	UPC-E の設定	4.80
4.10.15	EAN/JAN-13 の設定	4.82
4.10.16	EAN/JAN-8 の設定	4.84
4.10.17	MSI の設定	4.85

4.10.18	GS1 Databar Omnidirectional の設定	4.87
4.10.19	GS1 Databar Limited の設定	4.87
4.10.20	GS1 Databar Expanded の設定	4.88
4.10.21	GS1 イミューションの設定	4.89
4.11	スタックシンボルの読み取り設定	4.90
4.11.1	Trioptic コード の設定	4.90
4.11.2	コード ブロック A の設定	4.91
4.11.3	コード ブロック F の設定	4.92
4.11.4	PDF417 の設定	4.93
4.11.5	マイク PDF417 の設定	4.94
4.11.6	GS1 コンポジットの設定	4.95
4.11.7	TLC39 の設定	4.96
4.12	マトリクスシンボルの読み取り設定	4.97
4.12.1	QR/マイク QR の設定	4.97
4.12.2	データマトリクス の設定	4.98
4.12.3	マシコード の設定	4.99
4.12.4	Aztec の設定	4.100
4.13	郵便シンボルの読み取り設定	4.101
4.13.1	2D 郵便シンボルの設定	4.101
4.13.2	中国郵便コード の設定	4.102
4.13.3	韓国郵便コード の設定	4.103
5.	シリアルコマンド	5.1
5.1	メニューコマンド	5.1
5.2	シリアルリファコマンド	5.3
5.3	イメージングコマンド	5.3
5.4	イメージングデフォルトコマンド	5.18
A.1	コード ID 表	A.1
A.2	キーボードコード対応表	A.2
A.3	ASCIIコード表	A.3
A.4	メンテナンス	A.4
A.5	トラブルシューティング	A.5
A.6	サンプルコード	A.6
	修理依頼書	A.9

Blank page

1. はじめに

この度は、Honeywell 社製エリアイメジャ(以下、イメジャ)をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この説明書は、Honeywell 社のイメジャの基本的な使用方法と設定方法について説明しております。ご使用になられる前に必ずお読みください。

1.1 ご使用上の注意

本装置は精密な電子部品で構成されていますので、絶対に分解しないでください。本装置が万一故障した場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

1.2 梱包内容の確認

本装置の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

(梱包内容)

ケーブル式イメジャ

- ◆ イメジャ本体(指定インターフェイスケーブル付)----- 1 台
- ◆ インターフェイスケーブル----- 1 本
- ◆ AC アダプタ----- 1 個 (*1)
- ◆ 簡易取扱説明書 ----- 1 冊

(*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

ワイヤレス式イメジャ

- ◆ イメジャ本体----- 1 台
- ◆ 充電電池パック----- 1 個
- ◆ AC アダプタ----- 1 個 (*1)
- ◆ 簡易取扱説明書 ----- 1 冊

(*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

ワイヤレス式イメジャ用ベースステーション又はアクセスポイント

- ◆ ベースステーション又はアクセスポイント----- 1 台
- ◆ インターフェイスケーブル----- 1 本
- ◆ AC アダプタ----- 1 個 (*1)

(*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

梱包箱は、修理などで製品を返送する場合、輸送時の損傷を避けるために必要となります。大切に保管してください。

1.3 ワイヤレスイメージャのLED・ビープインディケータ

ワイヤレスイメージャ及びベースステーションは、ホータにステータスを知らせるためのLED及びビープインディケータを搭載しており、それぞれ下記のステータスを意味します。

ワイヤレスイメージャのLED・ビープ		
LED	ビープ	意味
通常動作		
赤色 点滅	無し	電池残量が少ない
緑色 点滅	1 回ビープ	通信成功又はリソク成功
赤色 点滅	低音ビープ / 高ビープ	通信失敗
設定メニュー・コト 読み取り		
緑色 点滅	2 回ビープ	設定成功
赤色 点滅	低音ビープ / 高ビープ	設定失敗

ベースステーションの充電ステータス LED	
LED	意味
緑色 点灯	80%以上 充電済み
緑色 低速点滅 1 秒毎 ON/OFF	30% ~ 80% 充電済み
緑色 高速点滅 300 ミリ秒毎 ON/OFF	30%未満 充電済み

ベースステーションのシステムステータス LED	
LED	意味
赤色 点灯	電源 ON、待機中
赤色 低速点滅	電源 ON、自己診断エラー
赤色 高速点滅	無線通信・有線通信中
赤色 1 回点滅 約 30 秒毎に発生	Bluetooth 無線ステータス診断

1.4 イメージャを充電する

ワイヤレスイメージャは、専用リチウムイオン充電電池パック(容量 1,800mAh)を採用しています。この充電電池パックは、フル充電状態で約 14 時間(50,000 スキャン)¹の動作が可能です。

ワイヤレスイメージャをベースステーションに置くと、充電が自動的に行われます。充電が行われている間、ベースステーションの充電ステータス LED が緑色に点滅し、完了すると、常時点灯に変わります。充電時間は約 4.5~5 時間です。

✓ベースステーションの電源を USB インターフェイスケーブルやキーボード インターフェイスケーブル経由で PC から供給している場合は、通常より長い充電時間が必要になります。専用 AC アダプタの接続をお勧めします。

充電電池の寿命

充電電池の特性上、十分な充電を行っても使用できる時間が短くなった時が交換の目安となります。必ず、専用リチウムイオン充電電池パック(1000000495)をお求めください。

安全に、より長く充電電池パックをご使用いただくために

- 充電電池パックは、30%~60%程度充電された状態で出荷されています。ご購入後、最初に約 5 時間 充電電池パックを充電してください。
- 充電は、5~40℃の環境で行ってください。
- 長期間使用しない場合は、液漏れの危険があるため、充電電池パックを取り外して保管してください。
- 次頁の ⚠ 危険・警告・注意をお読みの上、正しくお使いください。

充電電池パック・充電器の注意

ワイヤレスイメージャで指定されている専用の充電電池パック及び充電器を必ずご使用ください。液漏れ・発熱・破裂の恐れがあり、大変危険です。以下の事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- 専用充電器以外では充電しない。
- ハンダ付けや分解・改造・変形をしない。
- 火中投入、加熱ショットしない。
- 液漏れした駅が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

- +-(プラスマイナス)を正しく入れる。
- +-(プラスマイナス)を金属物に接触させない。また、金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管しない。
- 外装ケースをはがしたり傷つけない。
- 液漏れした液が手や衣服に付いた時は直ちにきれいな水で洗い流すこと。
- 液漏れや変色、変形に気づいたときは使用しない。
- 乳幼児の手の届かない所へ保管する。万が一飲み込んだ場合は、すぐに医者に相談する。

¹ 動作時間・スキャン数は目安です。運用状況、周囲環境により異なりますので、ご注意ください。

⚠ 注意

- 強い衝撃を与えたり、投げつけない。
- 水に濡らさない。
- 充電した電池と放電した電池を混用しない。
- 新旧の電池を混用して使用しない。
- 使用しない時は、機器から取り外す。
- 専用の充電電池及び充電器以外は使用しない。

充電電池の廃棄について

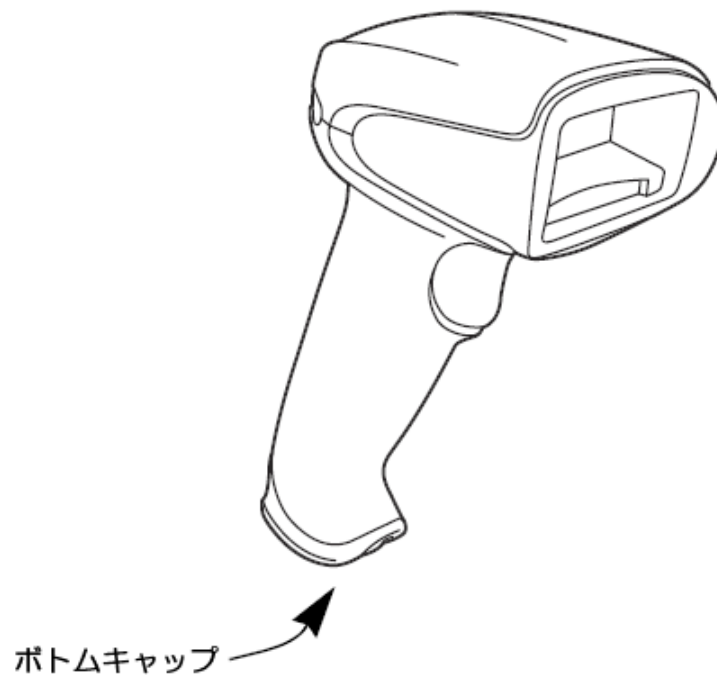
使用済みの充電電池は「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の電気店またはスーパーなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。



1.5 ワイヤレスイメージャの充電電池パックを交換する

下記の手順に従って、充電電池パックの交換を行ってください。

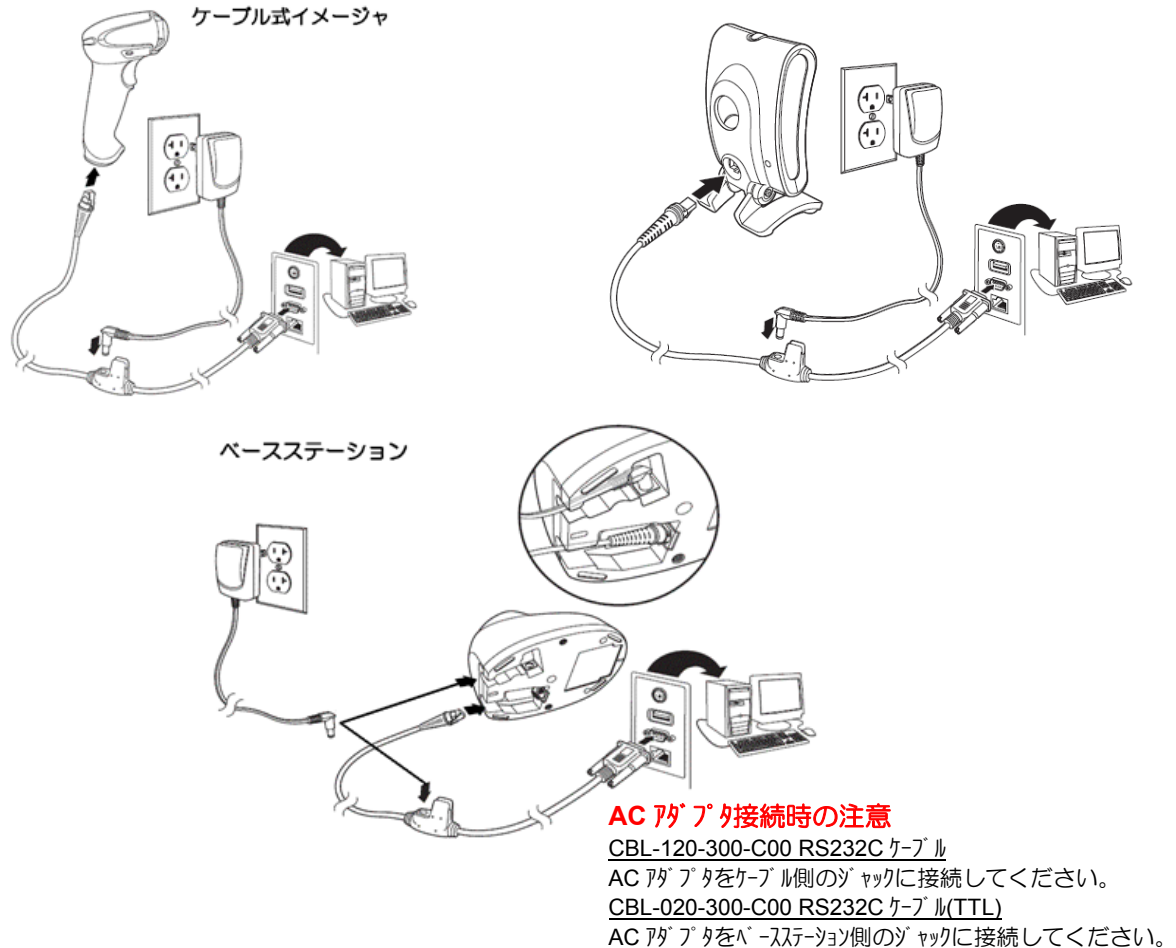
1. イメージャのボトムキャップにあるネジを緩めます。
2. ハンドル部分から充電電池パックを取り外します。
3. 新しい充電電池パックをハンドル部分にセットします。
4. ボトムキャップを元に戻し、ネジを締めれば完了です。



2. イメージャと PC と接続する

2.1 RS232C インターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。

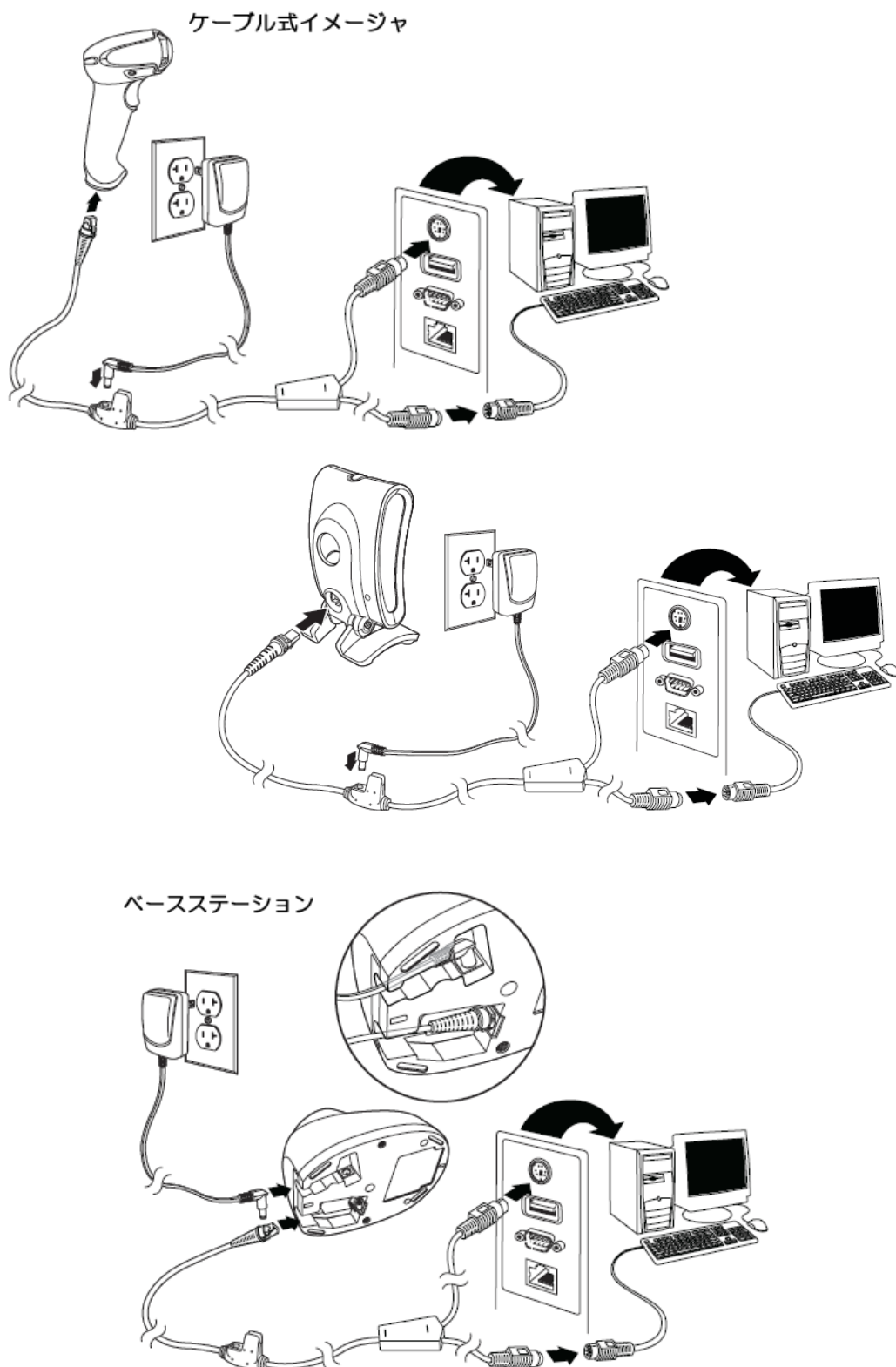


下記に RS232C インターフェイスケーブルのピン配列を示します。

RS232C インターフェイスケーブル ピン配列	
D-Sub9 双コネクタ	
ピン番号	信号名
1	シールド
2	TxD
3	RxD
4	N/C
5	GND
6	N/C
7	CTS
8	RTS
9	イメージャ電源 DC5V

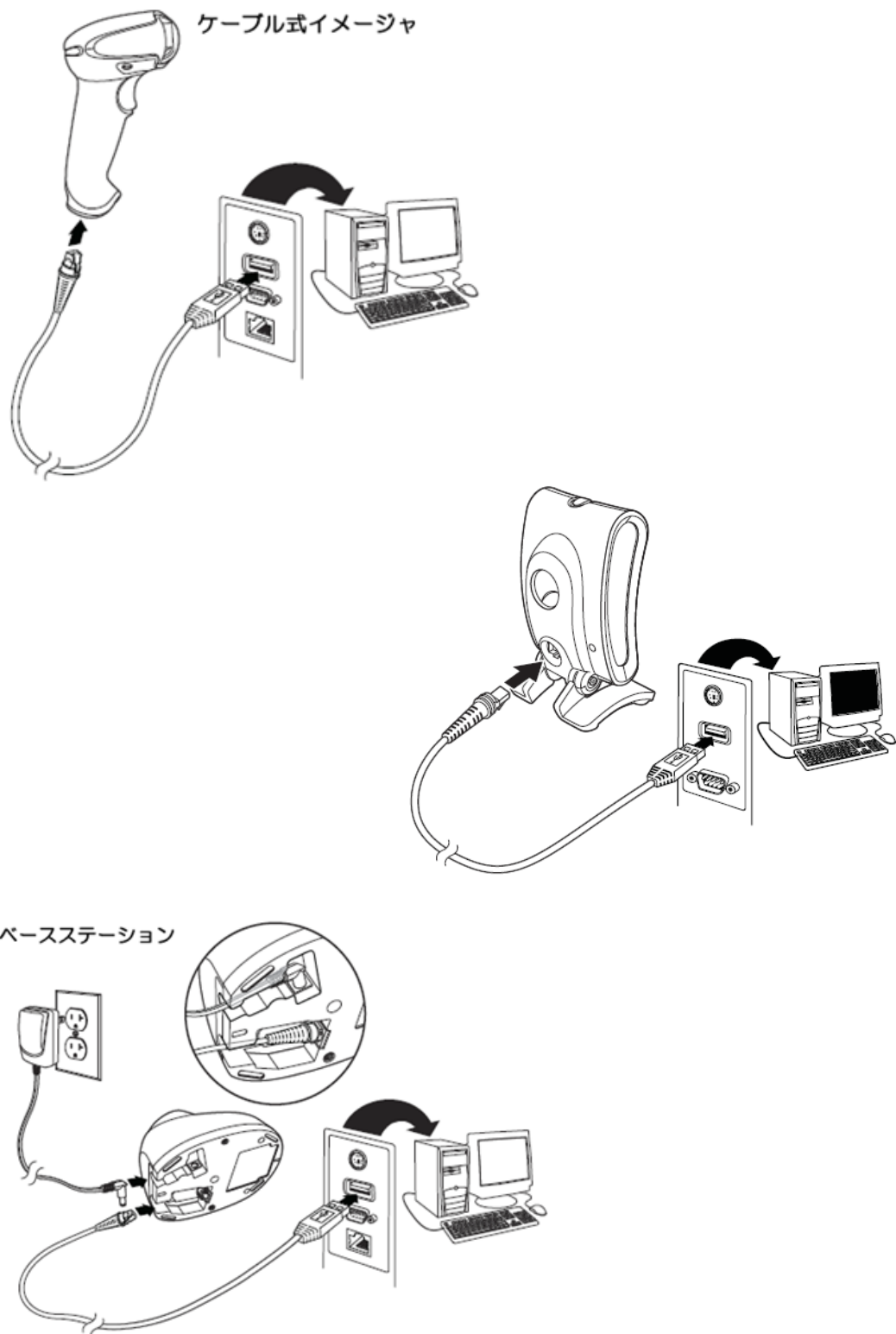
2.2 キーボードインターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



2.3 USB インターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



✓USB バーチャル COM ドライバ のインストール方法は、製品に添付の簡易説明書及び別冊の「USB-COM ドライバ インストール手順」を参照ください。

2.5 ワイヤレスイメージャとベースステーションのリンクを確立する

ご購入されたワイヤレスイメージャは、初期状態では、ベースステーションとのリンクが確立していません。下記の手順に従って、リンクの確立を行ってください。

1. 前ページまでを参照して、PC とベースステーションを正しく接続します。
2. ワイヤレスイメージャをベースステーションにセットします。ピッピッというビープ音が鳴った後、リンク試行が始まります。プッッッッッッッッッッ.....ピコ(ワイヤレスイメージャの緑色 LED も瞬時点灯)というビープ音が鳴れば、リンクは成功です。



3. リンクが始まらない場合は、下記のマトリックスコードをスキャンして、再度、イメージャをベースステーションにセットしてみてください。



✓ベースステーションとのリンクが確立していない場合

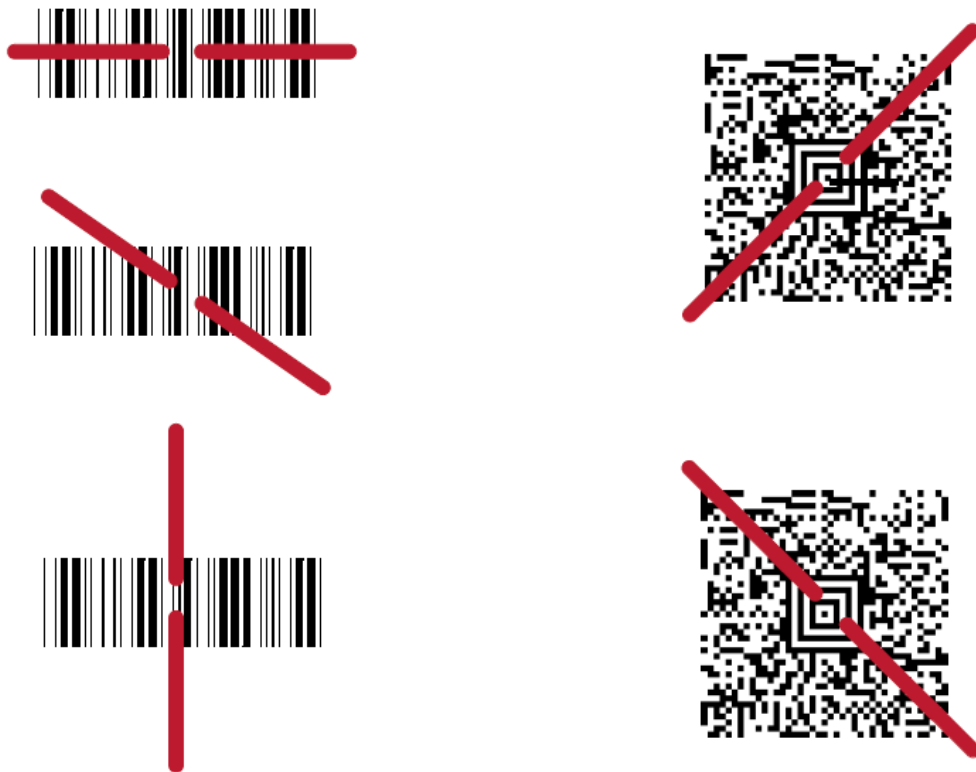
1. トリガボタンを押すと、プッというビープ音が鳴ります。
2. マトリックスコードをスキャンすると、プープープーというビープ音が鳴り、同時に赤色 LED が3回点滅します。

3. イメージャの読み取り操作

本章ではイメージャの読み取り操作について説明します。

3.1 イメージャの読み取り操作

イメージャでバーコード及び二次元コードを読み取る場合、下図に示す様にエリアイメージャのイメージングビーム(赤色又は緑色のLEDビーム)が目的のコードのセンターになるように照射します。エリアイメージャは、360°読み取りが可能なため、読み取り易い方向にイメージングビームを照射することができます。



Blank page

4. パラメータ設定

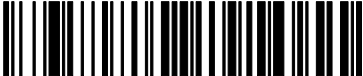
イメージャのパラメータは本章に記載する専用コマンドバーコードを使って設定します。

パラメータ設定を始める前に、PC とイメージャを正しく接続し、コマンドバーコードの読み取りが行える状態にしてください。

コマンドバーコード表の使い方

コマンドバーコード このバーコードをスキャンすると、説明欄にあるパラメータ設定が行えます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンドバーコード</th><th>説明</th><th>デフォルト</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>CAPS LOCK IZ 通常 CAPS LOCK 状態で「IZ」キーを使用します。</td><td>■</td></tr> <tr> <td></td><td>CAPS LOCK IZ 通常 CAPS LOCK 状態で「IZ」キーを使用します。</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>CAPS LOCK 自動検出 CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK 対応 LED を搭載した PC-AT、PS/2 のみ有効です。</td><td></td></tr> </tbody> </table>	コマンドバーコード	説明	デフォルト		CAPS LOCK IZ 通常 CAPS LOCK 状態で「IZ」キーを使用します。	■		CAPS LOCK IZ 通常 CAPS LOCK 状態で「IZ」キーを使用します。			CAPS LOCK 自動検出 CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK 対応 LED を搭載した PC-AT、PS/2 のみ有効です。		デフォルト欄 ワイヤレスイメージャのデフォルト設定値を意味します。ユーザーの設定値を書き込む機能としても利用できます。
コマンドバーコード	説明	デフォルト												
	CAPS LOCK IZ 通常 CAPS LOCK 状態で「IZ」キーを使用します。	■												
	CAPS LOCK IZ 通常 CAPS LOCK 状態で「IZ」キーを使用します。													
	CAPS LOCK 自動検出 CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK 対応 LED を搭載した PC-AT、PS/2 のみ有効です。													
		説明欄 コマンドバーコードの説明・設定手順が書かれています。												

4.1 システムコマンド

コマンドバーコード	説明
全デフォルト  ~ D E F O V R . ↓  ~ D E F A L T .	パラメータ設定値を工場出荷時のデフォルト設定値に戻します。ワイヤレスイメージャの場合は、ペーパーステーションとの接続を再度確立させてください。
カスタムデフォルト設定  ~ M N U C D F .	カスタムデフォルトを設定します。設定したい項目のコマンドバーコードをスキャンする前に左記のコマンドバーコードをスキャンします。
カスタムデフォルト  ~ D E F A L T .	カスタムデフォルト設定値に戻します。ワイヤレスイメージャの場合は、ペーパーステーションとの接続を再度確立させてください。
デコーダリビジョン表示  ~ R E V _ D R .	デコーダリビジョンを出力します。
スキャンドライバリビジョン表示  ~ R E V _ S D .	スキャンドライバリビジョンを出力します。

データフォーマット設定表示  ~ D F M B K 3 ? .	現在のデータフォーマット設定を出力します。
TotalFreedom マット	
イメージング アプリケーション有効  ~ P L G I P E 1 .	イメージング アプリケーションを有効にします。
イメージング アプリケーション無効  ~ P L G I P E 0 .	イメージング アプリケーションを無効にします。
デコーディング アプリケーション有効  ~ P L G D C E 1 .	ポート番号, ワークグループ, イメージャ名, アドレスなどの情報を出力します。
デコーディング アプリケーション無効  ~ P L G D C E 0 .	ポート番号, ワークグループ, イメージャ名, アドレスなどの情報を出力します。
フォーマットिंग アプリケーション有効  ~ P L G F O E 1 .	ポート番号, ワークグループ, イメージャ名, アドレスなどの情報を出力します。
フォーマットング アプリケーション無効  ~ P L G F O E 0 .	ポート番号, ワークグループ, イメージャ名, アドレスなどの情報を出力します。
アプリケーションリスト  ~ P L G I N F .	アプリケーションリストを出力します。

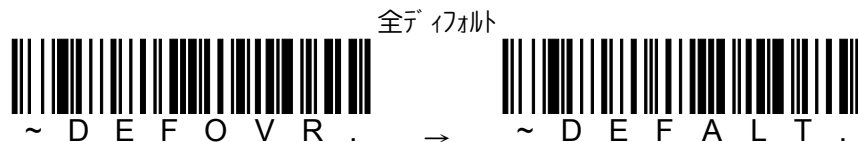
✓TotalFreedom マットの設定を有効にするため、イメージャをリセットしてください。

4.2 イメージャの簡単セットアップ

4.2.1 ワイヤレスイメージャの初期化

最初にワイヤレスイメージャとベースステーションのパラメータ設定値を工場出荷時の初期状態にリセットして、リンクを確立させます。リンクが確立すれば、各インターフェイスの初期化に進んでください。

1. PC とベースステーションを正しく接続します。
2. 下記の「全デフォルト」コマンドバーコードを左から順にスキャンします。



3. ワイヤレスイメージャをベースステーションにセットします。ピッピッというビープ音が鳴った後、リンク試行が始まります。プッッッッッッッッッッ...ピッ(ワイヤレスイメージャの緑色 LED も瞬時点灯)というビープ音が鳴れば、リンクは成功です。



4. リンクが始まらない場合は、下記のコマンドバーコードをスキャンして、再度、イメージャをベースステーションにセットしてみてください。



パラメータ設定値を工場出荷時にリセットする必要が無い場合は、「全デフォルト」コマンドバーコードをスキャンせず、リンクの確立のみを行い、各インターフェイスの初期化に進んでください。

✓ベースステーションとのリンクが確立していない場合

1. トリガボタンを押すと、プッというビープ音が鳴ります。
2. バーコードをスキャンすると、プープーというビープ音が鳴り、同時に赤色 LED が 3 回点滅します。

4.2.2 RS232C インターフェイスの初期化

PC とイメージャ又はベースステーションを RS232C インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください

 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始
 ~ K 0 K	RS232C インターフェイス
 ~ K 0 K	
 ~ K 0 K	
 ~ 2 3 2 B A D 5 .	9600/8/N/1
 ~ 2 3 2 W R D 2 .	

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

4.2.3 DOS/V キーボードインターフェイスの初期化

PC とイメージャ又はベースステーションを DOS/V キーボードインターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください(デスクトップ PC)

 ~ P A P _ A T .	PC AT キーボード デスクトップ PC データ+インターキー
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本語キーボード

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

上から順番にスキャンしてください(ノート PC)

 ~ P A P L T D .	PC AT キーボード ノート PC 外付けキーボード 無し データ+インターキー
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本語キーボード

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

4.2.4 USB キーボード インターフェイスの初期化

PC とイメージャ又はベースステーションを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください

 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始
 ~ K 1 K	USB キーボード インターフェイス
 ~ K 3 K	
 ~ K 4 K	

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源を初にし、再立ち上げを行ってください。

4.2.5 USB バーチャル COM インターフェイスの初期化

PC とイメージャ又はベースステーションを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください

 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始
 ~ K 1 K	USB バーチャル COM インターフェイス
 ~ K 3 K	
 ~ K 0 K	

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

4.2.6 プリフィックス/サフィックスの初期化

プリフィックスは読み取ったデータの前に付加される固定データ、サフィックスは読み取ったバーコードの後ろに付加される固定データを意味します。それぞれ 11 文字までの任意のキャラクタを設定できます。

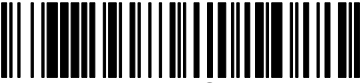
プリフィックス (max.11 文字)	読取データ	サフィックス (max.11 文字)
------------------------	-------	-----------------------

デフォルトは、プリフィックス 無し・サフィックス 無しです。変更が必要な場合は、下記から希望する初期化メニューを上から順番に読み取ってください。

また、任意の文字列を設定したい場合は、「4.9.6 プリフィックス/サフィックスの設定」を参照ください。

プリフィックス 無し/サフィックス 無し

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F C A 2 .	全サフィックス クリア

プリフィックス 無し/サフィックス CR(インターキー)

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ V S U F C R .	全サフィックス CR(インターキー)

プリフィックス 無し/サフィックス インターキー(テンキー)

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シンボル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	インターキー(テンキー)
 ~ K 1 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

プリフィックス 無し/サフィックス TAB キー

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シンボル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	TAB キー
 ~ K 9 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

プリフィックス無し/サフィックス CR/LF

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シフト
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	CR
 ~ K D K	
 ~ K 0 K	LF
 ~ K A K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

プリフィックス STX/サフィックス ETX

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E B K 2 .	プリフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シボ [®] ル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	STX
 ~ K 2 K	
 ~ M N U S A V .	プリフィックス設定終了
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シボ [®] ル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	ETX
 ~ K 3 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

4.3 ターミナル ID

イメージャをお使いになる PC に合うインターフェイスに初期化します。下記の表からお使いになる PC(インターフェイス)に合う 3 桁のターミナル ID を確認してください。

出荷時の設定は、ご購入されたインターフェイスタイプにより異なります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T E R M I D .	<u>ターミナル ID 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から 3 桁のターミナル ID をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

インターフェイス/ターミナル(PC)	ターミナル ID
IBM PC AT 互換 101/104 キーボード	003
IBM DOSV106/109 日本語キーボード	102(未対応)
USB 106/109 日本語キーボード	134
USB PC キーボード	124
USB MAC キーボード	125
USB HID POS	131
USB バッテリ COM インターフェイス	130
RS232 インターフェイス	000
シリアルウェッジ インターフェイス	050
ワットシミュレーション(コード 39 フォーマット)	061
ワットシミュレーション	064

本書では、代表的なターミナル ID のみを掲載しています。ご使用になるターミナル(PC)が未掲載の場合は、お手数ですが弊社までご連絡をお願いします。

4.4 キーボードインターフェイス

4.4.1 キーボードカントリーの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D C T Y 0 .	USA	■
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本	

4.4.2 CAPS LOCK の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D S T Y 0 .	<u>CAPS LOCK ㊦</u> 通常 CAPS LOCK ㊦で PC を使用します。	■
 ~ K B D S T Y 1 .	<u>CAPS LOCK ㊦</u> 通常 CAPS LOCK ㊦で PC を使用します。	
 ~ K B D S T Y 2 .	<u>SHIFT LOCK ㊦</u> 通常 SHIF LOCK ㊦で PC を使用します。	
 ~ K B D S T Y 6 .	<u>CAPS LOCK 自動検出</u> CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK ステータス LED を搭載した PC-AT, PS/2 のみ有効です。	

4.4.3 キーボード動作モードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D S T Y 5 .	<u>外付けキーボードエミュレーション</u> ノート PC で外付けキーボードを接続しない場合に設定します。 <u>設定後、必ずノート PC の電源を再立ち上げてください。</u>	
 ~ K B D N P S 1 .	<u>デキモード 1</u> 数字データをデキ入力として送信します。	
 ~ K B D N P S 0 .	<u>デキモード 0</u> 数字データをフルキーボード入力として送信します。	■
 ~ K B D C N V 0 .	大文字/小文字変換送信 0	
 ~ K B D C N V 1 .	大文字変換送信 1	
 ~ K B D C N V 2 .	小文字変換送信 2	
 ~ K B D C A S 1 .	<u>CTRL+ASCII 入力 1</u> CTRL+ASCII 入力を 1 にします。実際送信されるキーセットは、本書「A.2 キーボードコード対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D C A S 0 .	<u>CTRL+ASCII 入力 0</u> CTRL+ASCII 入力を 0 にします。	
 ~ K B D T M D 1 .	<u>ファンクションコード送信 1</u> ファンクションコード送信を 1 にします。実際送信されるキーセットは、本書「A.2 キーボードコード対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D T M D 0 .	<u>ファンクションコード送信 0</u> ファンクションコード送信を 0 にします。	

4.5 RS232C インターフェイス

4.5.1 ボーレートの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 B A D 0 .	300bps	
 ~ 2 3 2 B A D 1 .	600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 2 .	1,200bps	
 ~ 2 3 2 B A D 3 .	2,400bps	
 ~ 2 3 2 B A D 4 .	4,800bps	
 ~ 2 3 2 B A D 5 .	9,600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 6 .	19,200bps	
 ~ 2 3 2 B A D 7 .	38,400bps	
 ~ 2 3 2 B A D 8 .	57,600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 9 .	115,200bps	■

4.5.2 データフォーマットの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 W R D 3 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 0 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 無し	
 ~ 2 3 2 W R D 6 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 奇数	
 ~ 2 3 2 W R D 4 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 1 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 無し	
 ~ 2 3 2 W R D 7 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 奇数	
 ~ 2 3 2 W R D 5 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 2 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 無し	■
 ~ 2 3 2 W R D 8 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 奇数	

4.5.3 RTS/CTS ハンドシェイクの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 C T S 1 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ (タイムアウト無し)	
 ~ 2 3 2 C T S 3 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ (タイムアウト有り)	
 ~ 2 3 2 C T S 0 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ	■
 ~ 2 3 2 D E L .	RTS/CTS ハンドシェイクタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 1~5100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.5.4 XON/XOFF ハットシイクの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 X O N 1 .	XON/XOFF ハットシイク オン	
 ~ 2 3 2 X O N 0 .	XON/XOFF ハットシイク オフ	■
 ~ 2 3 2 A C K 1 .	ACK/NAK ハットシイク オン	
 ~ 2 3 2 A C K 0 .	ACK/NAK ハットシイク オフ	■

4.5.5 ACK/NAK ハットシイクの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 A C K 1 .	ACK/NAK ハットシイク オン	
 ~ 2 3 2 A C K 0 .	ACK/NAK ハットシイク オフ	■

4.6 USB バイナル COM インターフェイス

4.6.1 RTS/CTS ハンドシェイクの設定

コマンド バイナルコード	説明	デフォルト
 ~ U S B C T S 1 .	RTS/CTS ハンドシェイク オン	
 ~ U S B C T S 0 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ	■

4.6.2 ACK/NAK ハンドシェイクの設定

コマンド バイナルコード	説明	デフォルト
 ~ U S B A C K 1 .	ACK/NAK ハンドシェイク オン	
 ~ U S B A C K 0 .	ACK/NAK ハンドシェイク オフ	■

4.7 Bluetooth インターフェイス

4.7.1 ペーステーション接続の設定

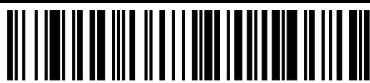
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ R E S E T ~ .	<u>ワイヤレスイメージリセット</u> ワイヤレスイメージをリセットします。	
 ~ B T ~ R M V .	<u>リンク解除</u> ワイヤレスイメージとペーステーションのリンクを解除します。	
 ~ B A S L N K 0 .	<u>充電専用モード</u> ペーステーションの無線をオフにします。	
 ~ B A S L N K 1 .	<u>充電&無線リンクモード</u> ペーステーションの無線をオンにします。	
 ~ B A S C O N 0 , D N G 1 .	<u>ロックリンクモード (シングルイメージ)</u> ロックリンクモードに設定します。1つのペーステーションに1台のワイヤレスイメージを接続できます。但し、オープンリンクモードと異なり、新しいワイヤレスイメージをペーステーションにセットしても、リンクが新たに確立されることはありません。	■
 ~ B A S C O N 1 , D N G 1 .	<u>オープンリンクモード (シングルイメージ)</u> オープンリンクモードに設定します。1つのペーステーションに1台のワイヤレスイメージを接続できます。 <u>ロックリンクモードと異なり、新しいイメージをペーステーションにセットすると、そのイメージとリンクが新たに確立されます。</u>	
 ~ B T ~ R P L 1 .	<u>強制再リンク(ロックリンクモード)</u> ロックリンクモードで、強制的に新しいワイヤレスイメージとリンクを確立します。	
 ~ B A S C O N 2 , D N G 3 .	<u>マルチリンクモード</u> マルチリンクモードに設定します。1つのペーステーションで最大7台のワイヤレスイメージとリンクすることができます。	

4.7.2 FIPS 暗号化インディケータの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ F P S L E D 1 .	ワイヤレスイメージャインディケータ オン	■
 ~ F P S L E D 0 .	ワイヤレスイメージャインディケータ オフ	
<u>正常インディケータ：橙色 LED</u> FIPS セキュリティが正常に動作し、ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されている場合、トリガを引くと点灯します。また、これには、ワイヤレスイメージャとペーパーステーションに正常に FIPS ソフトウェアがロードされたという意味もあります。 <u>エラーインディケータ：赤色 LED</u> FIPS セキュリティが正常に動作しておらず、ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されていない場合、トリガを引くと点灯します。また、これには、ワイヤレスイメージャには、FIPS ソフトウェアが正常にロードされたが、ペーパーステーションには、ロードされていないという意味もあります。 <u>エラーインディケータ：セキュリティ警告ビープ</u> ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されていない場合、データを読み取った後、グットリードビープに続いて、ショートビープ 2 回が 1 分間の休止毎に鳴動します。また、これには、ワイヤレスイメージャには、FIPS ソフトウェアが正常にロードされたが、ペーパーステーションには、ロードされていないという意味もあります。		

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ F P S B E P 1 .	ペーパーステーションインディケータ オン	■
 ~ F P S B E P 0 .	ペーパーステーションインディケータ オフ	
<u>正常インディケータ：高音ショートビープ & 赤色 LED</u> ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されている場合、データを読み取った後、高音ショートビープが鳴動し、赤色 LED が点滅します。また、これには、ワイヤレスイメージャとペーパーステーションに正常に FIPS ソフトウェアがロードされたという意味もあります。 <u>エラーインディケータ：セキュリティ警告ビープ</u> ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されていない場合、データを読み取った後、ショートビープ 2 回が鳴動し、赤色 LED が点滅します。また、これには、ワイヤレスイメージャには、FIPS ソフトウェアが正常にロードされたが、ペーパーステーションには、ロードされていないという意味もあります。		

4.7.3 自動再リッの設定

マツドバ-コード	説明	デ-イフォルト
 ~ B T _ A C M 1 .	自動再リッ ョ	■
 ~ B T _ A C M 0 .	自動再リッ ョ	
 ~ B T _ M L A .	<u>最大リッ試行回数</u> 左記のマツドバ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード 表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。	0
 ~ B T _ R L T .	<u>再リッタイムアウト</u> 左記のマツドバ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード 表」から設定したい値を 1~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。 設定単位は、秒です。	3
数値バ-コード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

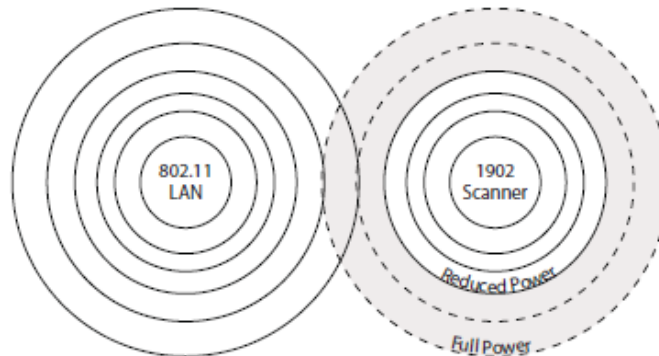
- ✓ 最大リッ試行回数内に再リッが確立できなかった場合、ワイヤスイメージャは再リッ試行を中止します。再度、再リッを試行したい場合は、ワイヤスイメージャのトリガを引くか、ワイヤスイメージャをベースユニットにセットします。これにより、最大リッ試行回数カウンタが 0 にリセットされます。
- ✓ 最大リッ試行回数を 0 に設定した場合は、パワータイムアウト(「4.8.2 パワータイムアウトの設定」を参照)で設定された時間が適用されます。
- ✓ 再リッタイムアウトは、再リッを試行する間隔を意味します。

4.7.4 通信圏外アラームの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B A S O R D .	<u>ペ-ステ-ション通信圏外アラ-ム時間</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を 0~3,000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、秒です。	0 (無し)
 ~ B T _ O R D .	<u>ワイヤメ-ジ-通信圏外アラ-ム時間</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を 0~3,000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、秒です。	0 (無し)
 ~ B A S O R W .	<u>ペ-ステ-ション通信圏外アラ-ムタイプ</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を 0~7 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ B T _ O R W .	<u>ワイヤメ-ジ-通信圏外アラ-ムタイプ</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を 0~7 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.7.5 Bluetooth パワ-の設定

既存の無線ネットワークとの干渉を回避するため、ワイヤスイメージャの Bluetooth パワ-を調整することができます。



コマンド パ-コード	説明	デ ィ フ ァ ル ト
 ~ B T _ T X P 1 0 0 .	Bluetooth パワ- 100% 2.5mW, 4dBm	■
 ~ B T _ T X P 3 5 .	Bluetooth パワ- 35% 0.875mW, 0dBm	
 ~ B T _ T X P 5 .	Bluetooth パワ- 5% 0.125mW, -9dBm	
 ~ B T _ T X P 1 .	Bluetooth パワ- 1% 0.025mW, -16dBm	
 ~ R E S E T _ .	ワイヤスイメージャリセット	
 : * : R E S E T _ .	ベースステーションリセット	

✓ Bluetooth パワ-の設定を変更した場合は、必ずワイヤスイメージャ及びベースステーションのリセットを行ってください。

4.7.6 通信圏外メモリ機能バッチモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B A T E N A 1 .	<u>通信圏外メモリ機能 01</u> ワイヤスイメージが通信圏外で読み取ったデータをフラッシュメモリにメモリします。メモリされた読取データは、ワイヤスイメージが通信圏内に戻った時点で、自動送信されます。	
 ~ B A T E N A 0 .	<u>通信圏外メモリ機能 02</u> ワイヤスイメージが通信圏外で読み取ったデータは保存されません。	■
 ~ B A T E A N 2 .	<u>バッチモード 01</u> ワイヤスイメージは通信圏内・圏外に関係なく、読み取ったデータをフラッシュメモリにメモリします。メモリされた読取データは、ワイヤスイメージをペーステーションにセットするか、「メモリデータ送信」コマンドバーコードがスキャンすると、送信されます。	
 ~ B A T D L Y 0 .	メモリデータ送信デレイ 0 (無し)	■
 ~ B A T D L Y 2 5 0 .	メモリデータ送信デレイ 250 ミリ秒	
 ~ B A T D L Y 5 0 0 .	メモリデータ送信デレイ 500 ミリ秒	
 ~ B A T D L Y 1 0 0 0 .	メモリデータ送信デレイ 1,000 ミリ秒	

- ✓メモリデータ送信デレイは、メモリされた読取データを送信する際に、各読取データ間に挿入されるデレイです。
- ✓メモリが一杯になると、エラー音を鳴動し、これ以上メモリできないことをホールドに知らせます。メモリ内の読取データの送信を行ってください。

4.7.6.1 バッチモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B A T Q T Y 1 .	数量モード 加 数量モード を加にします。 例えば、XYZ というコード を 3 回スキャンすると、XYZ, 0003 というデータがメモリされます。また、コード をスキャンした後、次頁の数量バーコードで直接数量データを入力・編集することができます。	
 ~ B A T Q T Y 0 .	数量モード 加 数量モード を加にします。 例えば、XYZ というコード を 3 回スキャンすると、XYZ というデータが 3 件メモリされます。	■
 ~ B A T L I F 0 .	メモリデータ送信 FIFO	■
 ~ B A T L I F 1 .	メモリデータ送信 LIFO	
 ~ B A T U N D .	最終メモリデータ削除	
 ~ B A T C L R .	メモリデータ全削除	
 ~ B A T _ T X .	メモリデータ送信	

数量バ -コード	
 ~ B A T N U M 0 . 0	 ~ B A T N U M 1 . 1
 ~ B A T N U M 2 . 2	 ~ B A T N U M 3 . 3
 ~ B A T N U M 4 . 4	 ~ B A T N U M 5 . 5
 ~ B A T N U M 6 . 6	 ~ B A T N U M 7 . 7
 ~ B A T N U M 8 . 8	 ~ B A T N U M 9 . 9

数量バ -コード の使い方

目的のコードを読み取った後、1~9999(デフォルト値 1)の範囲で数量バ -コード をスキャンします。

例 1) 数量データを 5 としたい場合

1. 目的のコード をスキャン
2. 数量バ -コード 「5」をスキャン

例 2) 数量データを 1500 としたい場合

3. 目的のコード をスキャン
4. 数量バ -コード を「1」→「5」→「0」→「0」の順でスキャン

例 3) 数量データを 103 を 10 に変更したい場合

1. 数量バ -コード 「0」をスキャン (数量データが 0103 → 1030 となる)
2. 数量バ -コード 「0」をスキャン (数量データが 1030 → 0300 となる)
3. 数量バ -コード 「1」をスキャン (数量データが 0300 → 3001 となる)
4. 数量バ -コード 「0」をスキャン (数量データが 3001 → **0010** となる)

4.7.7 ワイヤレスイメージャ名の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~BT_NAM0001.	ワイヤレスイメージャ名「0001」	
 ~BT_NAM0002.	ワイヤレスイメージャ名「0002」	
 ~BT_NAM0003.	ワイヤレスイメージャ名「0003」	
 ~BT_NAM0004.	ワイヤレスイメージャ名「0004」	
 ~BT_NAM0005.	ワイヤレスイメージャ名「0005」	
 ~BT_NAM0006.	ワイヤレスイメージャ名「0006」	
 ~BT_NAM0007.	ワイヤレスイメージャ名「0007」	
 ~RESET.	<u>リセット</u> ワイヤレスイメージャをリセットし、ヘーステーションと再リンクします。	

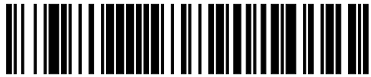
- ✓Xenon 1902 シリーズのワイヤレスイメージャ名デフォルト値は、「Xenon」です。
- ✓ワイヤレスイメージャ名は、シリアルコマンド (5. シリアルコマンド 参照) のパケット内で使用します。
- ✓ワイヤレスイメージャ名を設定した場合は、必ずリセットを行って下さい。
- ✓ヘーステーションに複数の同一ワイヤレスイメージャ名がリンクしている場合は、最初にリンク確立したワイヤレスイメージャがシリアルコマンドを受信します。
- ✓任意のワイヤレスイメージャ名を設定する場合は、次頁をご利用下さい。

コマンドバーコード	説明	デフォルト	
 ~ B T _ N A M .	<u>イメージ名 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したい10桁迄のイメージ名をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、イメージ名を ABCD とする場合、ABCD「確定」の順でスキャンします。		
 ~ R E S E T _ .	<u>リセット</u> イメージをリセットし、ヘーステーションと再リソクします。		
英数字バーコード表			
 0	 1	 2	 3
 4	 5	 6	 7
 8	 9	 A	 B
 C	 D	 E	 F
 G	 H	 I	 J
 K	 L	 M	 N
 O	 P	 Q	 R
 S	 T	 U	 V
 W	 X	 Y	 Z
 確定		 破棄	

- ✓Xenon 1902 シリーズのワイヤレスイメージ名デフォルト値は、「Xenon」です。
- ✓ワイヤレスイメージ名は、シリアルコマンド (5. シリアルコマンド 参照)の packets 内で使用します。
- ✓ワイヤレスイメージ名を設定した場合は、必ずリセットを行って下さい。
- ✓ヘーステーションに複数の同一ワイヤレスイメージ名がリソクしている場合は、最初にリソク確立したワイヤレスイメージがシリアルコマンドを受信します。

4.7.8 ワークグループ番号の設定

ワイヤレスイメージャにワークグループ番号を設定することで、ワークグループ毎に異なるパラメータ設定値を持たせることができます。また、ワークグループ番号指定して、ホスト ESC コマンド（「4.7.10 ホスト ESC コマンドの設定」を参照）を送信し、各ワイヤレスイメージャのビームや LED を制御することが可能になります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ G R P S E L 0 .	ワークグループ番号「0」	■
 ~ G R P S E L 1 .	ワークグループ番号「1」	
 ~ G R P S E L 2 .	ワークグループ番号「2」	
 ~ G R P S E L 3 .	ワークグループ番号「3」	
 ~ G R P S E L 4 .	ワークグループ番号「4」	
 ~ G R P S E L 5 .	ワークグループ番号「5」	
 ~ G R P S E L 6 .	ワークグループ番号「6」	

✓ワークグループは、ペアステーションと接続する場合に有効です。他の Bluetooth デバイスでは使用できません。

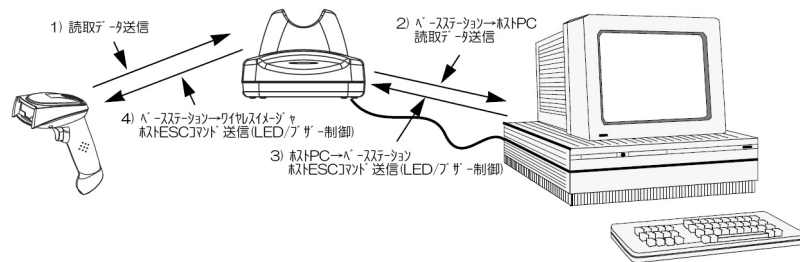
4.7.9 SPP 接続の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト	
 ~ B T _ D N G 5 .	PC/ノートブック用 SPP 接続		
 ~ B T _ D N G 1 .	PDA 用 SPP 接続		
 ~ B T _ P I N .	<u>PIN コード 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したい16桁迄のPINコードをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、PINコードを123456とする場合、123456「確定」の順でスキャンします。	1234	
 ~ B T _ R M V .	<u>SPP 接続解除</u> SPP 接続を解除します。		
英数字バーコード表			
 0	 1	 2	 3
 4	 5	 6	 7
 8	 9	 A	 B
 C	 D	 E	 F
 G	 H	 I	 J
 K	 L	 M	 N
 O	 P	 Q	 R
 S	 T	 U	 V
 W	 X	 Y	 Z
 確定		 破棄	

- ✓複数のイメージャを1つの仮想COMポートに接続することはできません。
- ✓通信圏外から通信圏内に戻った場合でも、自動的に再接続はできません。

4.7.10 ホスト ESC コマンドの設定

ホスト ESC コマンド をおこなうことで、PC からワイヤレスイメージャの LED やブザーを制御することが可能になります。例えば、PC 側で読取データをデコードすると照合検査し、合致しない場合、ホステラに対して、エラー状態を知らせることができます。また、1つのホステーションに対して、複数のワイヤレスイメージャをリンクさせている場合でも、各ワイヤレスイメージャにワークグループ番号を割り当てることで、個別にホスト ESC コマンドを送信することができます。



ホスト ESC コマンド パケットフォーマット		
ワークグループ番号(1バイト)	ESC コマンド (可変長)	ターミネータ(1バイト)
0(0x30) ~ 6(0x36)	<ESC> a	, (0x2C)
例) ワークグループ番号 0 のワイヤレスイメージャに対して、<ESC>5<ESC>6 コマンドを送信 送信パケット: 0<ESC>5<ESC>6, <ESC>=0x1B		
コマンドリスト		
<ESC>a	パラメータ変更成功時と同じ動作, ビープ (ピー) + 緑色 LED1 回点滅	
<ESC>b	パラメータ変更失敗時と同じ動作, ビープ (ブープブープ) + 赤色 LED 3 回点滅	
<ESC>1	緑色 LED 135 ミリ秒間点灯(連続点灯時は、70 ミリ秒以上の間隔要)	
<ESC>2	緑色 LED 2 秒間点灯(連続点灯時は、500 ミリ秒以上の間隔要)	
<ESC>3	緑色 LED 5 秒間点灯(連続点灯時は、500 ミリ秒以上の間隔要)	
<ESC>4	低音ビープを 1 回鳴動	
<ESC>5	中音ビープを 1 回鳴動	
<ESC>6	高音ビープを 1 回鳴動	
<ESC>7	読取/通信 OK, ビープ (ピー) + 緑色 LED1 回点滅	
<ESC>8	読取/通信 NG(<ESC>b 同等), ビープ (ブープブープ) + 赤色 LED 3 回点滅	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ H S T A C K 1 .	ホスト ESC コマンド ACK 1 ワイヤレスイメージャは読取データ送信後、ホスト ESC コマンド受信待ちになります。ホスト ESC コマンドを受信すれば、その動作を行った後、次のコード読み取りに移ります。10 秒以内に受信できなければ、タイムアウトとなり、エラービープを鳴動します。	
 ~ H S T A C K 0 .	ホスト ESC コマンド ACK 0	■

- ✓ホスト ESC コマンド は、RS232C/USB バイナル COM インターフェイスで使用できます。
- ✓RS232C インターフェイスの場合は、ボーレートを 9,600bps 以下に設定してください。

4.8 インデキータ

4.8.1 グットリッドフザ-の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P B E P 1 .	グットリッドフザ- オン	■
 ~ B E P B E P 0 .	グットリッドフザ- オフ	
 ~ B E P L V L 0 .	フザ-音量 無し	
 ~ B E P L V L 1 .	フザ-音量 小	
 ~ B E P L V L 2 .	フザ-音量 中	
 ~ B E P L V L 3 .	フザ-音量 大	■
 ~ B E P F Q 1 1 6 0 0 .	フザ-周波数 1,600Hz	
 ~ B E P F Q 1 4 2 0 0 .	フザ-周波数 4,200Hz	
 ~ B E P F Q 1 2 7 0 0 .	フザ-周波数 2,750Hz	■
 ~ B E P B I P 0 .	フザ-長 ノーマル	■
 ~ B E P B I P 1 .	フザ-長 ショート	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P R P T .	グッドリードフザ-LED 回数設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい回数を 1~9 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.2 イラ-ブザ-の設定

コマンドバ-コード		説明	デ-イフォルト
 ~ B E P F Q 2 2 5 0 .		ブザ-周波数 250Hz	■
 ~ B E P F Q 2 3 2 5 0 .		ブザ-周波数 3,250Hz	
 ~ B E P F Q 2 4 2 0 0 .		ブザ-周波数 4,200Hz	
 ~ B E P E R R .	イラ-ブザ-/LED 回数設定開始 左記のコマンドバ-コードをスキャンし、続けて「数値バ-コード表」から設定したい回数を 1~9 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。		1
数値バ-コード表			
 0		 1	
 2		 3	
 4		 5	
 6		 7	
 8		 9	
 確定		 破棄	

4.8.3 ゲットリード LED の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P L E D 1 .	ゲットリード LED オン	■
 ~ B E P L E D 0 .	ゲットリード LED オフ	

4.8 イメージャオプション

4.8.1 マニュアル/リアルトリガモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P A P H H F .	<u>マニュアル/リアルトリガ ノーマルモード</u> トリガ ボタン又はリアルコマンドで読み取りを開始するモードです。インハストモードに比べて、読取深度(DOF)が大きくなります。	■
 ~ P A P H H S .	<u>マニュアル/リアルトリガ インハストモード</u> トリガ ボタン又はリアルコマンドで読み取りを開始するモードです。ノーマルモードに比べて、読取深度(DOF)は小さくなりますが、超高速スキャンを実現します。	
 ~ T R G S T O .	<u>読取タイムアウト 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~300,000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

マニュアルトリガモード トリガ ボタンを押している間、読み取りを行います。データを読み取るか、トリガ ボタンを離すと、読み取りを終了します。読取タイムアウトを設定した場合は、その時間が経過すると読み取りを終了します。

リアルトリガモード 読取開始リアルコマンドを受信すると、読み取りを行います。データを読み取るか、読取終了リアルコマンドを受信すると、読み取りを終了します。読取タイムアウトを設定した場合は、その時間が経過すると読み取りを終了します。

読取開始 <SYN> T <CR>
 読取終了 <SYN> U <CR>

<SYN> = 16hex, <CR> = 0Dhex

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P W R N O L 0 .	マニュアルシリアルトリガ LED 照明 無し	
 ~ P W R N O L 1 0 0 .	マニュアルシリアルトリガ LED 照明 低照度	
 ~ P W R N O L 1 2 0 .	マニュアルシリアルトリガ LED 照明 中照度	
 ~ P W R N O L 1 5 0 .	マニュアルシリアルトリガ LED 照明 高照度	■

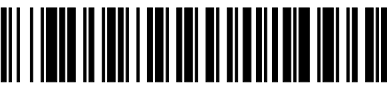
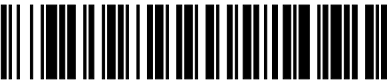
4.8.2 パワータイムアウトの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B T _ L P T 0 .	パワータイムアウト 0 秒(無し)	
 ~ B T _ L P T 2 0 0 .	パワータイムアウト 200 秒	
 ~ B T _ L P T 4 0 0 .	パワータイムアウト 400 秒	
 ~ B T _ L P T 9 0 0 .	パワータイムアウト 900 秒	
 ~ B T _ L P T 3 6 0 0 .	パワータイムアウト 3,600 秒	■
 ~ B T _ L P T 7 2 0 0 .	パワータイムアウト 7,200 秒	

✓シリアルマルチトリガモードにのみ有効です。

✓パワータイムアウト時間が経過すると、イメージャは電源を切にします。トリガボタンを引くと、パワーアップビープを鳴動し、復帰します。ワイヤレスイメージャは、数秒後にリッパを再確立しします。

4.8.3 スタンド検知センサーの設定¹

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T R G S S W 1 .	スタンド検知センサー オ イメージャをスタンドにセットすると自動的にオートセレクトモードに移行します。	
 ~ T R G S S W 0 .	スタンド検知センサー オフ	

¹ フレッシュステーションエリアイメージャは対応していません。

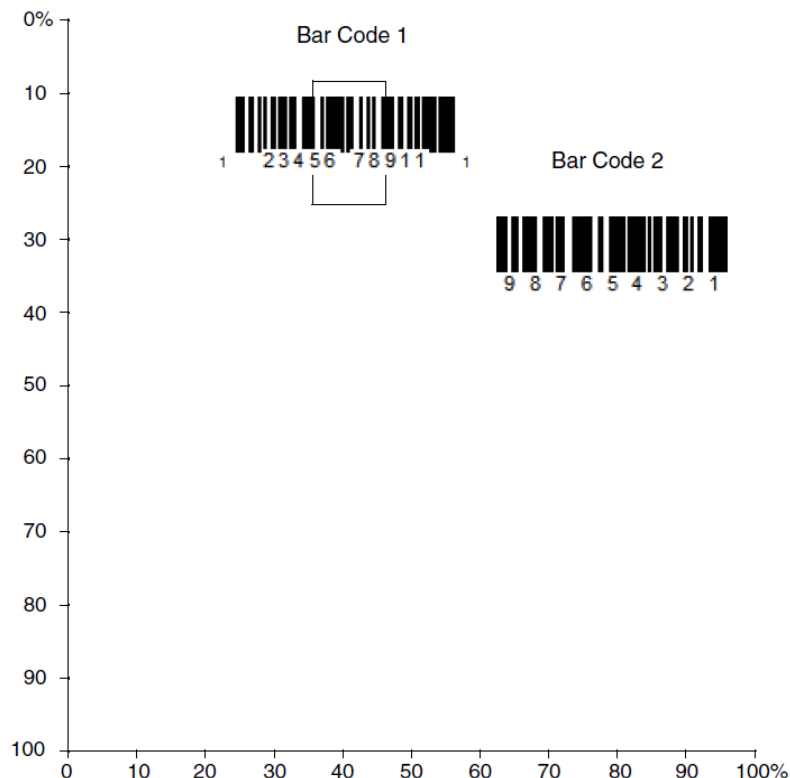
4.8.4 プレゼンテーションモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T R G M O D 3 .	<u>プレゼンテーションモード</u> イメージャの読取エリアにラベルを差し出すと自動的に読み取りを開始するモードです。このモードは読取エリアの明暗を検知しているため、周囲の照明が暗すぎると、正常に動作しない場合があります。	
 ~ T R G P T O .	<u>プレゼンテーション読取タイムアウト設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~300,000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	5,000
 ~ T R G P C K 1 .	<u>読み取り後 LED 消</u> データ読み取り後、少しの間 LED を消の状態に保ちます。	■
 ~ T R G P C K 0 .	<u>読み取り後 LED 点</u> データ読み取り後、直ぐに LED を点します。	
 ~ T R G P M S .	<u>プレゼンテーション感度</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~20 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。(0 = 最高感度)	1
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

マウントバーコード	説明	デフォルト
 ~ P W R L D C 0 .	フレッションモード LED 照明 無し	
 ~ P W R L D C 1 0 0 .	フレッションモード LED 照明 低照度	
 ~ P W R L D C 1 2 0 .	フレッションモード LED 照明 中照度	
 ~ P W R L D C 1 5 0 .	フレッションモード LED 照明 高照度	■

4.8.4.1 フレッションセンタリングウィンドウ

フレッションセンタリングウィンドウを設定することで、確実に目的にバーコードを読ませることが可能になります。例えば、下記の例では、フレッションセンタリングウィンドウを左 20%・右 30%・上 8%・下 25%に設定しているため、Bar Code1 を確実に読み取り、Bar Code2 を読み取ることはありません。



✓読み取り対象のバーコードがフレッションセンタリングウィンドウに接触する形で通過すれば読み取りが行えます。バーコード全体がフレッションセンタリングウィンドウ内に収まる必要はありません。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P D C W I N 1 .	プレゼンテーションウィンドウ 有り	
 ~ P D C W I N 0 .	プレゼンテーションウィンドウ 無し	■
 ~ P D C T O P .	<u>プレゼンテーションウィンドウ 上</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	40%
 ~ P D C B O T .	<u>プレゼンテーションウィンドウ 下</u> 上記を参照ください。	60%
 ~ P D C L F T .	<u>プレゼンテーションウィンドウ 左</u> 上記を参照ください。	40%
 ~ P D C R G T .	<u>プレゼンテーションウィンドウ 右</u> 上記を参照ください。	60%
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.5 ストリミング プレゼンテーションモード の設定

コマンド バージョンコード	説明	デフォルト
 ~ P A P S P N .	<u>ストリミング プレゼンテーション ノーマルモード</u> イメージャは、照明 LED を常に点燈させて、コードを検知します。インハストモードに比べて、読取深度(DOF)が大きくなります。	
 ~ P A P S P E .	<u>ストリミング プレゼンテーション インハストモード</u> ノーマルモードに比べて、読取深度(DOF)は小さくなりますが、超高速スキャンを実現します。	

4.8.6 携帯電話液晶読取モード の設定

コマンド バージョンコード	説明	デフォルト
 ~ P A P H H C .	<u>携帯電話液晶読取モード (トリガ)</u> イメージャは、トリガを引くと、読み取りを行います。インハストモードに比べて、読取深度(DOF)が大きくなります。	
 ~ P A P S P C .	<u>携帯電話液晶読取モード ストリミング プレゼンテーション</u> イメージャは、照明 LED を常に点燈させて、コードを検知します。ノーマルモードに比べて、読取深度(DOF)は小さくなりますが、超高速スキャンを実現します。	
 ~ P A P P R C .	<u>携帯電話液晶読取モード プレゼンテーション</u> イメージャは、オブジェクトを検知すると、照明 LED を点燈させて、コードを読み取ります。	

✓ 携帯電話の液晶画面やその他 LCD 画面を読み取るためのモードです。このモードでは、印刷されたコードの読み取り速度がわずかに遅くなります。

4.8.7 CodeGate®の設定

CodeGate®を有りに設定すると、トリガボタンが押されるまで、読取データを送信しません。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A O S C G D 0 .	CodeGate® 無し (Out-of-Stand)	■
 ~ A O S C G D 1 .	CodeGate® 有り (Out-of-Stand)	

4.8.8 イメージスナップ&シップの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T R G M O D 6 .	<u>イメージスナップ&シップ</u> イメージャは、イメージ撮影モードで動作します。トリガを引くと、イメージ撮影が行われ、イメージ画像(デフォルト jpg)がホストに送信されます。	

✓この設定を行うと設定用コマンドバーコードを含む全てのコード読み取りができなくなります。コードの読み取りを行う場合は、「4.8.1 マニュアル/リアルタイムモードの設定」にある他のトリガモードをリアルコマンド(「5. リアルコマンド」を参照)で送信し、トリガモードの変更を行ってください。

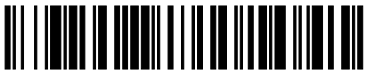
4.8.9 二次元コード読取デレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y 2 P R 0 .	二次元コード読取デレイ 無し	■
 ~ D L Y 2 P R 1 0 0 0 .	二次元コード読取デレイ 1 秒	
 ~ D L Y 2 P R 3 0 0 0 .	二次元コード読取デレイ 3 秒	
 ~ D L Y 2 P R 4 0 0 0 .	二次元コード読取デレイ 4 秒	

4.8.10 同一コード読取デレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y R R D 5 0 0 .	同一コード 読取デレイ 500 ミ秒 同一コード を読み取る迄の間隔を 500 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D 7 5 0 .	同一コード 読取デレイ 750 ミ秒 同一コード を読み取る迄の間隔を 750 ミ秒に設定します。	■
 ~ D L Y R R D 1 0 0 0 .	同一コード 読取デレイ 1,000 ミ秒 同一コード を読み取る迄の間隔を 1,000 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D 2 0 0 0 .	同一コード 読取デレイ 2,000 ミ秒 同一コード を読み取る迄の間隔を 2,000 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D .	同一コード 読取デレイ 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャンし、続 けて「数値バーコード 表」から設定 したい値を 0~30,000 の範囲でス キャンし、最後に「確定」バーコード をス キャンします。設定単位は、ミ秒です。	750
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.11 コード読取デレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y G R D 0 .	コード読取デレイ 無し 次のコードを読み取る迄の間隔を 0 ミリ秒(無し)に設定します。	■
 ~ D L Y G R D 5 0 0 .	コード読取デレイ 500 ミリ秒 次のコードを読み取る迄の間隔を 500 ミリ秒に設定します。	
 ~ D L Y G R D 1 0 0 0 .	コード読取デレイ 1,000 ミリ秒 次のコードを読み取る迄の間隔を 1,000 ミリ秒に設定します。	
 ~ D L Y G R D .	コード読取デレイ 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続 けて「数値バーコード表」から設定 したい値を 0~30,000 の範囲でス キャンし、最後に「確定」バーコードをス キャンします。設定単位は、ミリ秒です。	500
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.12 照明 LED/イマーの設定

コマンド バージョン	説明	デフォルト
 ~ S C N L E D 1 .	照明 LED オン	■
 ~ S C N L E D 0 .	照明 LED オフ	
 ~ S C N A I M 0 .	イマー オン	
 ~ S C N A I M 2 .	イマー オフ	■
 ~ S C N D L Y 2 0 0 .	イマーデレイ 200 ミリ秒	
 ~ S C N D L Y 4 0 0 .	イマーデレイ 400 ミリ秒	
 ~ S C N D L Y 0 .	イマーデレイ 0 ミリ秒	■

イマーデレイで設定された時間経過後、イメージを取り込みます。

4.8.13 パワーダウンタイムアウトの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ S D R T I M .	<u>パワーダウンタイムアウト 設定開始</u> 設定された時間アイドル状態が続くと、イメージャはパワーダウンします。パワーダウンさせたくない場合は、0を設定します。左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~999,999の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	60,000
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

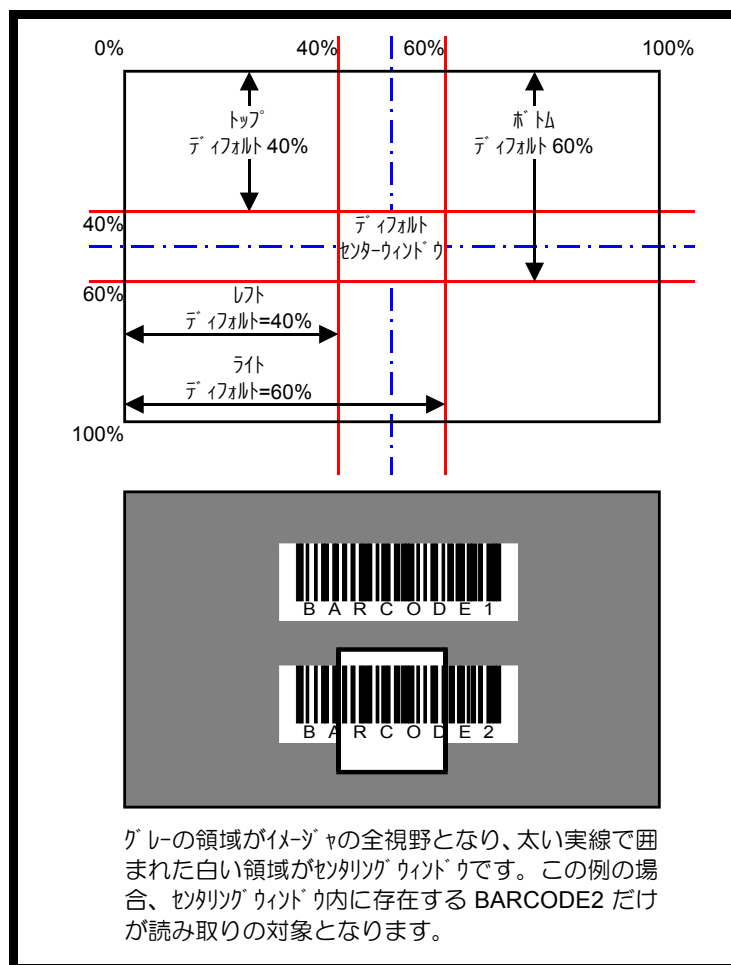
✓この設定は、ケーブル式イメージャにのみ有効です。

4.8.14 センタリング ウィンドウの設定

センタリング ウィンドウは、複数コードが隣接するレベルから目的のコードだけを確実に読み取るために、イメージの視野を限定(狭める)するための機能です。本書「4.8.7 照明 LED/Iマ-の設定」で説明したIマ-デ-ルと併用することで、読取Iマ-を最小限に抑えることが可能になります。

センタリング ウィンドウをオ-にすると、トップ・ボトム・レフト・ライトで設定されたエリアがセンタリング ウィンドウとなり、イメージはそのウィンドウ内に存在するコードだけを読み取ります。ウィンドウ内にコードが無ければ、何も読み取りません。

下記は、センタリング ウィンドウの概念と例を示しています。



コマンド バ-コード	説明	デ-フォルト
 ~ D E C W I N 0 .	センタリング ウィンドウ オ-	■
 ~ D E C W I N 1 .	センタリング ウィンドウ オ-	

 ~ D E C T O P .	セタリツグ ウィンドウ トップ 設定開始 左記のマツド バ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード 表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。設定単位は、%です。	40
 ~ D E C B O T .	セタリツグ ウィンドウ ボトム 設定開始 左記のマツド バ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード 表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。設定単位は、%です。	60
 ~ D E C L F T .	セタリツグ ウィンドウ レフト 設定開始 左記のマツド バ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード 表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。設定単位は、%です。	40
 ~ D E C R G T .	セタリツグ ウィンドウ ライト 設定開始 左記のマツド バ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード 表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。設定単位は、%です。	60
数値バ-コード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.15 マルチコード 読み取りの設定

コマンド バールコード	説明	デフォルト
 ~ S H O T G N 1 .	<u>マルチコード 読み取り オ</u> イメージャは、トリガを引いている間、常に新たなコード (シンボル) をサーチし、読み取りを試みます。各コード (シンボル) を一度ずつ読み取り (同じコードを重複読み取りしない)、その都度、ゲットリードフザーを鳴動 (オの場合) させます。	
 ~ S H O T G N 0 .	<u>マルチコード 読み取り オ</u> イメージャは、Iマ-に最も近いコード (シンボル) だけを読み取ります。	■

4.8.16 シンボル優先順位読み取りの設定

シンボル優先順位の設定を行うことで、読み取りエリア内に複数のシンボル種が存在する場合でも、的確に優先順位の高いシンボル種を読み取らせることが可能になります。

例えば、他の業務でコード 39 を読み取る必要があるため、コード 39 の読み取りを無しに設定することはできないが、ある一部の業務で読み取りエリア内にコード 39 とコード 128 が存在する製品箱のコード 128 のみを確実に読み取らなければいけないとします。この場合、優先順位の高いシンボルをコード 128 とすることで、目的のコード 128 だけを確実に読み取ることができるようになります。

シンボル優先順位は、高い・低い・定義無しの 3 つに分類され、イメージは、低いに設定されたシンボル種を読み取りエリア内で検知すると、そのシンボルをシンボル優先順位タイムアウトで設定された時間無視して、高いに設定されているシンボル種を探します。優先順位タイムアウト内に見つかれば、それを読み取り、見つからなければ、読み取りエリア内にある低い又は定義無しのシンボル種を読み取ります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R F E N A 1 .	シンボル優先順位読み取り 有り	
 ~ P R F E N A 0 .	シンボル優先順位読み取り 無し	■
 ~ P R F C O D .	<u>優先順位の高いシンボル設定開始</u> 下記に設定手順を示します。 1. 左記のコマンドバーコード をスキャン 2. 対象となるシンボルのコード ID (本書「A.1 コード ID 表」参照) を「英数字バーコード表」からスキャン 3. 最後に「確定」をスキャンします。	無し
 ~ P R F B L K .	<u>優先順位の低いシンボル設定開始</u> 下記に設定手順を示します。 1. 左記のコマンドバーコード をスキャン 2. 対象となるシンボルのコード ID (本書「A.1 コード ID 表」参照) を「英数字バーコード表」からスキャン 4. 続けて、対象となるシンボルを追加する場合は、区切りを意味する FF を「英数字バーコード表」からスキャン、追加しない場合は、そのまま次に進みます。 6. 最後に「確定」をスキャンします。	無し

✓OCR 読み取りには、適用されません。

✓優先順位の低いシンボルを読み取る場合は、イメージの中央にくるように照射してください。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R F P T O .	<u>シンボル優先順位タイムアウト</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 1~3000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	500
 ~ P R F D F T .	<u>シンボル優先順位デフォルト</u> シンボル優先順位の設定を全てデフォルト値に戻します。	
数値・英数字バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 A	 B	
 C	 D	
 E	 F	
 確定	 破棄	

✓OCR 読み取りには、適用されません。

✓優先順位の低いシンボルを読み取る場合は、Iマ-の中央にくるように照射してください。

4.8.17 反転コード 読み取りの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~VIDREV1.	反転コード 読み取り オ 反転したコード (シンボル) の読み取りを行います。	
 ~VIDREV0.	反転コード 読み取り オ 反転したコード (シンボル) の読み取りを行いません。	■
 ~VIDREV0.	反転コード 読み取り オ (初タイプ) 反転したコード (シンボル) の読み取りを行いません。	

4.9 データ送信

4.9.1 ノーリード 送信の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ S H W N R D 1 .	<u>ノーリード 送信 ㊼</u> ノーリード「NR」を送信します。	
 ~ S H W N R D 0 .	<u>ノーリード 送信 ㊽</u> ノーリード「NR」を送信しません。	■

4.9.2 ファンクションコード 送信の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ R M V F N C 0 .	ファンクションコード 送信 ㊽	■
 ~ R M V F N C 1 .	ファンクションコード 送信 ㊼	

4.9.3 キャラクタ間デレイの設定

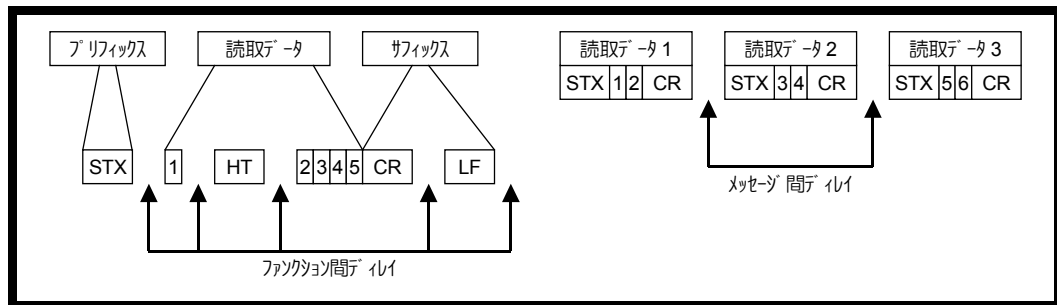
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y C H R .	キャラクタ間デレイ 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.9.4 指定キャラクターイルイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y C R X .	<u>指定キャラクターイルイ 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5 ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
 ~ D L Y _ X X .	<u>指定キャラクター 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したいキャラクターをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。例えば、A(41hex)を設定する場合は、41「確定」の順でスキャンします。この指定キャラクター送信後に、設定されたデイルイが実行されます。	
数値・英数字バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 A	 B	
 C	 D	
 E	 F	
 確定	 破棄	

4.9.5 ファクション間デイルイ・メッセージ間デイルイの設定

下図に示すように、ファクションキャラクタ(00~1Fhex)が送信された後に実行されるデイルイがファクション間デイルイ、読取データ間に実行されるデイルイがメッセージ間デイルイです。



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y F N C .	ファクション間デイルイ 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
 ~ D L Y M S G .	メッセージ間デイルイ 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.9.6 プリフィックス/サフィックスの設定

下記に示すように、読取データの前後にそれぞれ 1~11 文字までの任意のプリフィックス及びサフィックスを付加して送信することができます。

プリフィックス	読取データ	サフィックス
無し又は 1~11 文字	可変長	無し又は 1~11 文字

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R E B K 2 .	<u>プリフィックス 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるシボールのコード ID(本書「A.1 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、続けて設定したい 11 文字までのプリフィックスをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、全シボール(99)を対象にプリフィックスを 123 とする場合、各キャラクタを 16 進数に変換し、99313233「確定」の順でスキャンします。	無し
 ~ P R E C A 2 .	<u>全プリフィックス クリア</u> 設定されている全プリフィックスをクリアします。	
 ~ S U F B K 2 .	<u>サフィックス 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるシボールのコード ID(本書「A.1 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、続けて設定したい 11 文字までのプリフィックスをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、全シボール(99)を対象にサフィックスを TAB(09hex)とする場合、9909「確定」の順でスキャンします。	無し
 ~ S U F C A 2 .	<u>全サフィックス クリア</u> 設定されている全サフィックスをクリアします。	
 ~ V S U F C R .	<u>全サフィックス CR(キャリッジ リターン) クリア</u> 設定されている全サフィックスをクリアします。	

- コード ID 送信を指定する場合は、特殊コード 5C80 をスキャンします。
- AIM ID 送信を指定する場合は、特殊コード 5C81 をスキャンします。
- ¥マーク(バックslash)送信を指定する場合は、特殊コード 5C81 をスキャンします。

例)全シボール(99)のプリフィックスをコード ID に設定する場合、下記の順でスキャンします。

「プリフィックス」 995C80 「確定」

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R E C L 2 .	<u>対象プリフィックス クリア</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるツボールのコード ID(本書「A.5 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
 ~ S U F C L 2 .	<u>対象サフィックス クリア</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるツボールのコード ID(本書「A.5 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
英数字バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 A	 B	
 C	 D	
 E	 F	
 確定	 破棄	

4.9.7 データ送信シーケンスの設定

データ送信シーケンスを設定することにより、マルチコード読み取り(本書「4.8.10 マルチコード読み取りの設定」参照)を行った場合でも、データ送信シーケンスで設定された規則に従って、常に同じフォーマット(順序)でデータを送信することが可能になります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ S E Q B L K .	<u>データ送信シーケンス 設定開始</u> 下記に設定手順を示します。 1. 左記のコマンドバーコード をスキャン 2. 対象となるシボールのコード ID (本書「A.1 コード ID 表」参照) を「英数字バーコード表」からスキャン 3. 条件を適用したいシボールの桁数 を 0000~9999 の範囲で「数値 バーコード表」からスキャン (50 桁=0050, 可変長=9999) 4. 条件を適用したいシボールの先頭 キャラクタを「英数字バーコード表」から スキャン (A=41hex, 任意=99) 5. シーケンスの区切りを意味する FF を「英数字バーコード表」からスキャン 6. 次のシーケンスを設定する場合は、 2~6 を繰り返します。 シーケンス設定確定する場合は、 最後に「確定」をスキャンします。	
 ~ S E Q D F T .	<u>データ送信シーケンス デフォルト</u> データ送信シーケンスの設定をデフォルトに 戻します。	
 ~ S E Q _ E N 2 .	<u>データ送信シーケンス エクスルージブ</u> データ送信シーケンスを必ず適用して、デ ータを送信します。設定規則に当ては まらないデータは破棄します。	
 ~ S E Q _ E N 1 .	<u>データ送信シーケンス オフ</u> データ送信シーケンスを適用しますが、設 定規則に当てはまらないデータを読 み取った場合は、そのままデータを送 信します。	
 ~ S E Q _ E N 0 .	<u>データ送信シーケンス オン</u> 読取データをそのまま送信します。	

例えば、下記に示す多段バーコードを[コード 39][コード 128][コード 93]の順で必ず送信したい場合、次の手順でデータ送信シーケンスを設定します。

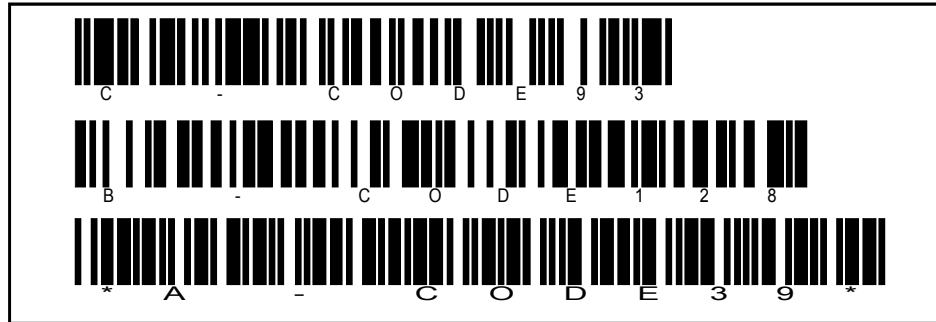
「データ送信シーケンス設定開始」 → 62 9999 41 FF → 6A 9999 42 FF → 69 9999 43 FF → 「確定」

①

②

③

- ① コード ID = 62(コード 39), 桁数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 41(A), シーケンス区切り FF
 ② コード ID = 6A(コード 128), 桁数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 42(B), シーケンス区切り FF
 ③ コード ID = 69(コード 93), 桁数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 43(C), シーケンス区切り FF



数値・英数字バーコード表

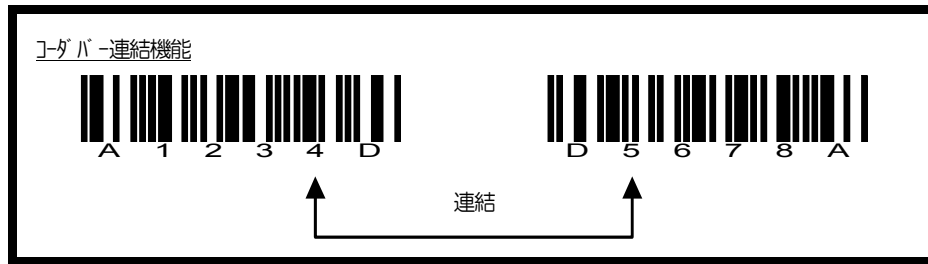
0	1
2	3
4	5
6	7
8	9
A	B
C	D
E	F
確定	破棄

4.10 リニアシンボル(バーコード)の読み取り設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A L L E N A 1 .	全リニアシンボル読み取り <u>オ</u> 全てのリニアシンボル(バーコード)の読み取りをオにします。	
 ~ A L L E N A 0 .	全リニアシンボル読み取り <u>オ</u> 全てのリニアシンボル(バーコード)の読み取りをオにします。	

4.10.1 コーダバー-(NW7)の設定

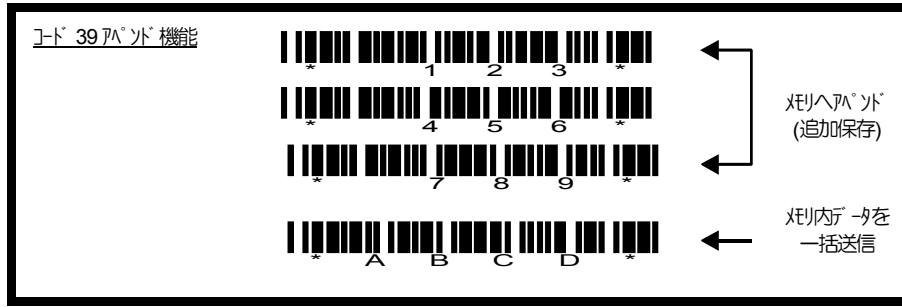
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C B R D F T .	コーダバー - 全デフォルト コーダバーに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C B R E N A 1 .	コーダバー - 読み取り <u>オ</u> コーダバーを読み取ります。	■
 ~ C B R E N A 0 .	コーダバー - 読み取り <u>オ</u> コーダバーを読み取りません。	
 ~ C B R S S X 1 .	スタート/ストップ 送信 <u>オ</u> スタート/ストップ キャラクタを送信します。	
 ~ C B R S S X 0 .	スタート/ストップ 送信 <u>オ</u> コーダバーのスタート/ストップ キャラクタを送信しません。	■
 ~ C B R C K 2 0 .	チェックイット <u>オ</u> チェックイット(エラー 16)検査をしません。	■
 ~ C B R C K 2 1 .	チェックイット <u>オ</u> /送信 <u>オ</u> チェックイット(エラー 16)検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ C B R C K 2 2 .	チェックイット <u>オ</u> /送信 <u>オ</u> チェックイット(エラー 16)検査及び送信を行います。	



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C B R C C T 2 .	連結機能 <u>01</u> (必須) 連結を行います。連結の無い単独の「D」シボ ^ル は読み取りません。	
 ~ C B R C C T 1 .	連結機能 <u>01</u> 連結を行います。連結の無い単独の「D」シボ ^ル も読み取れます。	
 ~ C B R C C T 0 .	連結機能 <u>01</u> 連結を行いません。	■
 ~ C B R M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を2~60の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ C B R M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を2~60の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	60
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.2 コード 39 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C 3 9 D F T .	<u>コード 39 全デフォルト</u> コードバーに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 3 9 E N A 1 .	<u>コード 39 読み取り 有効</u> コード 39 を読み取ります。	■
 ~ C 3 9 E N A 0 .	<u>コード 39 読み取り 無効</u> コード 39 を読み取りません。	
 ~ C 3 9 S S X 1 .	<u>スタート/ストップ 送信 有効</u> スタート/ストップ キャラクタを送信します。	
 ~ C 3 9 S S X 0 .	<u>スタート/ストップ 送信 無効</u> コードバーのスタート/ストップ キャラクタを送信しません。	■
 ~ C 3 9 C K 2 0 .	<u>チェックディジット 無効</u> チェックディジット検査をしません。	
 ~ C 3 9 C K 2 1 .	<u>チェックディジット 有効/送信 無効</u> チェックディジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ C 3 9 C K 2 2 .	<u>チェックディジット 有効/送信 有効</u> チェックディジット検査及び送信を行います。	
 ~ C 3 9 A S C 1 .	<u>ASCII 読み取り 有効</u> ASCII 読み取りをします。	
 ~ C 3 9 A S C 0 .	<u>ASCII 読み取り 無効</u> ASCII 読み取りをしません。	■
 ~ C 3 9 B 3 2 1 .	<u>コード 32(PARAF)読み取り 有効</u> コード 32(PARAF)を読み取ります。	
 ~ C 3 9 B 3 2 0 .	<u>コード 32(PARAF)読み取り 無効</u> コード 32(PARAF)を読み取りません。	



コマンド バージョ	説明	デフォルト
 ~ C 3 9 A P P 1 .	<u>アンド機能 初</u> スペースで始まるコード 39 データを読み取ると、最初のスペースを削除した後、内部メモリにアンド (追加保存) していきます。スペース以外で始まるコード 39 データを読み取ると、メモリ内のデータを一括送信します。	
 ~ C 3 9 A P P 0 .	<u>アンド機能 初</u> アンドを行いません。	■
 ~ C 3 9 M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンド バージョ をスキャン後、「数値バージョン表」から最小桁数を1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バージョンコード をスキャンします。	1
 ~ C 3 9 M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンド バージョ をスキャン後、「数値バージョン表」から最大桁数を1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バージョンコード をスキャンします。	48
数値バージョン表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.3 インターリーブド 2/5 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ I 2 5 D F T .	インターリーブド 2/5 全デフォルト インターリーブド 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ I 2 5 E N A 1 .	インターリーブド 2/5 読み取り 有効 インターリーブド 2/5 を読み取ります。	■
 ~ I 2 5 E N A 0 .	インターリーブド 2/5 読み取り 無効 インターリーブド 2/5 を読み取りません。	
 ~ I 2 5 C K 2 0 .	チェックサム 有効 チェックサム検査をしません。	■
 ~ I 2 5 C K 2 1 .	チェックサム 有効/送信 無効 チェックサム検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ I 2 5 C K 2 2 .	チェックサム 有効/送信 有効 チェックサム検査及び送信を行います。	
 ~ I 2 5 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最小桁数を 2~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	4
 ~ I 2 5 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最大桁数を 2~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	80
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

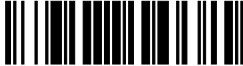
4.10.4 NEC 2/5 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ N 2 5 D F T .	<u>NEC 2/5 全デフォルト</u> NEC 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ N 2 5 E N A 1 .	<u>NEC 2/5 読み取り 有効</u> NEC 2/5 を読み取ります。	■
 ~ N 2 5 E N A 0 .	<u>NEC2/5 読み取り 無効</u> NEC 2/5 を読み取りません。	
 ~ N 2 5 C K 2 0 .	<u>チェックサム 無効</u> チェックサム検査をしません。	■
 ~ N 2 5 C K 2 1 .	<u>チェックサム 有効/送信 無効</u> チェックサム検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ N 2 5 C K 2 2 .	<u>チェックサム 有効/送信 有効</u> チェックサム検査及び送信を行います。	
 ~ N 2 5 M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を2~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ N 2 5 M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を2~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.5 コード 93 の設定

コードバーコード	説明	デフォルト
 ~ C 9 3 D F T .	<u>コード 93 全デフォルト</u> コード 93 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 9 3 E N A 1 .	<u>コード 93 読み取り 有効</u> コード 93 を読み取ります。	■
 ~ C 9 3 E N A 0 .	<u>コード 93 読み取り 無効</u> コード 93 を読み取りません。	
 ~ C 9 3 M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコードバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコード をスキャンします。	1
 ~ C 9 3 M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコードバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコード をスキャンします。	80
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.6 スレート 2/5 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ R 2 5 D F T .	スレート 2/5 全デフォルト スレート 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R 2 5 E N A 1 .	スレート 2/5 読み取り <u>オン</u> スレート 2/5 を読み取ります。	■
 ~ R 2 5 E N A 0 .	スレート 2/5 読み取り <u>オフ</u> スレート 2/5 を読み取りません。	
 ~ R 2 5 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確定」 バーコード をスキャンします。	4
 ~ R 2 5 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確定」 バーコード をスキャンします。	48
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.7 IATA 2/5 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A 2 5 D F T .	<u>IATA 2/5 全デフォルト</u> IATA2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ A 2 5 E N A 1 .	<u>IATA 2/5 読み取り 有効</u> IATA 2/5 を読み取ります。	
 ~ A 2 5 E N A 0 .	<u>IATA 2/5 読み取り 無効</u> IATA 2/5 を読み取りません。	■
 ~ A 2 5 M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ A 2 5 M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.8 マトリクス 2/5 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ X 2 5 D F T .	マトリクス 2/5 全デフォルト マトリクス 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ X 2 5 E N A 1 .	マトリクス 2/5 読み取り <u>オ</u> マトリクス 2/5 を読み取ります。	
 ~ X 2 5 E N A 0 .	マトリクス 2/5 読み取り <u>オ</u> マトリクス 2/5 を読み取りません。	■
 ~ X 2 5 M I N .	最小桁数 設定開始 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ X 2 5 M A X .	最大桁数 設定開始 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.9 コード 11 の設定

マストバ-コード	説明	デフォルト
 ~ C 1 1 D F T .	コード 11 全デフォルト コード 11 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 1 1 E N A 1 .	コード 11 読み取り オ コード 11 を読み取ります。	
 ~ C 1 1 E N A 0 .	コード 11 読み取り オ コード 25 を読み取りません。	■
 ~ C 1 1 C K 2 0 .	1 チェックビット 1 チェックビット検査をします。	
 ~ C 1 1 C K 2 1 .	2 チェックビット 2 チェックビット検査をします。	■
 ~ C 1 1 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のマストバ-コード をスキャン後、 「数値バ-コード 表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。	4
 ~ C 1 1 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のマストバ-コード をスキャン後、 「数値バ-コード 表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。	80
数値バ-コード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.10 コード 128 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 1 2 8 D F T .	コード 128 全デフォルト コード 128 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ 1 2 8 E N A 1 .	コード 128 読み取り <u>ON</u> GS1-128 を読み取ります。	■
 ~ 1 2 8 E N A 0 .	コード 128 読み取り <u>OFF</u> コード 128 を読み取りません。	
 ~ I S B E N A 1 .	ISBT 連結機能 <u>ON</u> ISBT 連結をします。	
 ~ I S B E N A 0 .	ISBT 連結機能 <u>OFF</u> ISBT 連結をしません。	■
 ~ 1 2 8 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ 1 2 8 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.11 GS1-128 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ G S 1 D F T .	<u>GS1-128 全デフォルト</u> GS1-128 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ G S 1 E N A 1 .	<u>GS1-128 読み取り 有効</u> GS1-128 を読み取ります。	■
 ~ G S 1 E N A 0 .	<u>GS1-128 読み取り 無効</u> GS1-128 を読み取りません。	
 ~ G S 1 M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ G S 1 M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.12 Telepen の設定

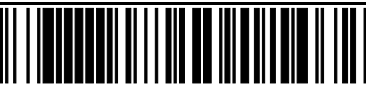
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T E L D F T .	<u>Telepen 全デフォルト</u> Telepen に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ T E L E N A 1 .	<u>Telepen 読み取り 有効</u> Telepen を読み取ります。	
 ~ T E L E N A 0 .	<u>Telepen 読み取り 無効</u> Telepen を読み取りません。	■
 ~ T E L O L D 0 .	<u>AIM フォーマット</u> AIM フォーマットで出力します。	■
 ~ T E L O L D 1 .	<u>グリッドフォーマット</u> グリッドフォーマットで出力します。	
 ~ T E L M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~60 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ T E L M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~60 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	60
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.13 UPC-A の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ U P A D F T .	<u>UPC-A 全デフォルト</u> UPC-A に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ U P A E N A 1 .	<u>UPC-A 読み取り 有効</u> UPC-A を読み取ります。	■
 ~ U P A E N A 0 .	<u>UPC-A 読み取り 有効</u> UPC-A を読み取りません。	
 ~ U P A C K X 1 .	<u>チェックディジット送信 有効</u> チェックディジットを送信します。	■
 ~ U P A C K X 0 .	<u>チェックディジット送信 有効</u> チェックディジットを送信しません。	
 ~ U P A N S X 1 .	<u>システムバース送信 有効</u> システムバースを送信します。	■
 ~ U P A N S X 0 .	<u>システムバース送信 有効</u> システムバースを送信しません。	
 ~ U P A A D 2 1 .	<u>アドオン2 読み取り 有効</u> アドオン2 を読み取ります。	
 ~ U P A A D 2 0 .	<u>アドオン2 読み取り 有効</u> アドオン2 を読み取りません。	■
 ~ U P A A D 5 1 .	<u>アドオン5 読み取り 有効</u> アドオン5 を読み取ります。	
 ~ U P A A D 5 0 .	<u>アドオン5 読み取り 有効</u> アドオン5 を読み取りません。	■

 ~ U P A A R Q 1 .	<u>アドオン必須読み取り 対応</u> アドオン付 UPC-A だけを読み取ります。	
 ~ U P A A R Q 0 .	<u>アドオン必須読み取り 対応</u> アドオン無しとアドオン付の UPC-A を読み取ります。	■
 ~ U P A A D S 1 .	<u>アドオンセパレータ 対応</u> アドオンデータの前にセパレータとして、スペースを挿入します。	
 ~ U P A A D S 0 .	<u>アドオンセパレータ 対応</u> スペースを挿入しません。	■
 ~ C P N E N A 2 .	<u>クーポンコード読み取り 対応 (必須)</u> クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。クーポンコードと拡張クーポンコードを 1 スキャンで読み取る必要があります。	
 ~ C P N E N A 1 .	<u>クーポンコード読み取り 対応</u> クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。	
 ~ C P N E N A 0 .	<u>クーポンコード読み取り 対応</u> クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。	■

4.10.14 UPC-E の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ U P E D F T .	<u>UPC-E 全デフォルト</u> UPC-E に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ U P E E N 0 1 .	<u>UPC-E0 読み取り 有効</u> 「0」で始まる UPC-E を読み取ります。	■
 ~ U P E E N 0 0 .	<u>UPC-E0 読み取り 有効</u> 「0」で始まる UPC-E を読み取しません。	
 ~ U P E E N 1 1 .	<u>UPC-E1 読み取り 有効</u> 「1」で始まる UPC-E を読み取ります。	
 ~ U P E E N 1 0 .	<u>UPC-E1 読み取り 有効</u> 「1」で始まる UPC-E を読み取しません。	■
 ~ U P E E X P 1 .	<u>UPC-A 変換 有効</u> UPC-A コードに変換します。	
 ~ U P E E X P 0 .	<u>UPC-A 変換 有効</u> UPC-A コードに変換しません。	■
 ~ U P E C K X 1 .	<u>チェックディジット送信 有効</u> チェックディジットを送信します。	■
 ~ U P E C K X 0 .	<u>チェックディジット送信 有効</u> チェックディジットを送信しません。	
 ~ U P E N S X 1 .	<u>システムバースト送信 有効</u> システムバーストを送信します。	■
 ~ U P E N S X 0 .	<u>システムバースト送信 有効</u> システムバーストを送信しません。	

 ~ U P E A D 2 1 .	<u>アドカ2読み取り カ</u> アドカ2を読み取ります。	
 ~ U P E A D 2 0 .	<u>アドカ2読み取り カ</u> アドカ2を読み取りません。	■
 ~ U P E A D 5 1 .	<u>アドカ5読み取り カ</u> アドカ5を読み取ります。	
 ~ U P E A D 5 0 .	<u>アドカ5読み取り カ</u> アドカ5を読み取りません。	■
 ~ U P E A R Q 1 .	<u>アドカ必須読み取り カ</u> アドカ付 UPC-E だけを読み取ります。	
 ~ U P E A R Q 0 .	<u>アドカ必須読み取り カ</u> アドカ無しとアドカ付の UPC-E を読み取ります。	■
 ~ U P E A D S 1 .	<u>アドカセパレータ カ</u> アドカデータの前にセパレータとして、スペースを挿入します。	
 ~ U P E A D S 0 .	<u>アドカセパレータ カ</u> スペースを挿入しません。	■

4.10.15 EAN/JAN-13 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ E 1 3 D F T .	<u>EAN/JAN-13 全デフォルト</u> EAN/JAN-13に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ E 1 3 E N A 1 .	<u>EAN/JAN-13 読み取り 有効</u> EAN/JAN-13 を読み取ります。	■
 ~ E 1 3 E N A 0 .	<u>EAN/JAN-13 読み取り 有効</u> EAN/JAN-13 を読み取りません。	
 ~ E 1 3 C K X 1 .	<u>チェックサム送信 有効</u> チェックサムを送信します。	■
 ~ E 1 3 C K X 0 .	<u>チェックサム送信 有効</u> チェックサムを送信しません。	
 ~ E 1 3 A D 2 1 .	<u>アドオン2 読み取り 有効</u> アドオン2 を読み取ります。	
 ~ E 1 3 A D 2 0 .	<u>アドオン2 読み取り 有効</u> アドオン2 を読み取りません。	■
 ~ E 1 3 A D 5 1 .	<u>アドオン5 読み取り 有効</u> アドオン5 を読み取ります。	
 ~ E 1 3 A D 5 0 .	<u>アドオン5 読み取り 有効</u> アドオン5 を読み取りません。	■

 ~ E 1 3 A R Q 1 .	<u>アドオン必須読み取り</u> <u>アドオン付 EAN/JAN-13</u> だけを読み取ります。	
 ~ E 1 3 A R Q 0 .	<u>アドオン必須読み取り</u> <u>アドオン無しとアドオン付の EAN/JAN-13</u> を読み取ります。	■
 ~ E 1 3 A D S 1 .	<u>アドオンデータ</u> <u>アドオンデータの前にデータとして、スペースを挿入します。</u>	
 ~ E 1 3 A D S 0 .	<u>アドオンデータ</u> <u>アドオンデータを挿入しません。</u>	■
 ~ E 1 3 I S B 1 .	<u>ISBN 変換</u> <u>ISBN 変換をします。</u>	
 ~ E 1 3 I S B 0 .	<u>ISBN 変換</u> <u>ISBN 変換をしません。</u>	■

4.10.16 EAN/JAN-8 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
~ E A 8 D F T .	<u>EAN/JAN-8 全デフォルト</u> EAN/JAN-8 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
~ E A 8 E N A 1 .	<u>EAN/JAN-8 読み取り 有効</u> EAN/JAN-8 を読み取ります。	■
~ E A 8 E N A 0 .	<u>EAN/JAN-8 読み取り 有効</u> EAN/JAN-8 を読み取りません。	
~ E A 8 C K X 1 .	<u>チェックディジット送信 有効</u> チェックディジットを送信します。	■
~ E A 8 C K X 0 .	<u>チェックディジット送信 有効</u> チェックディジットを送信しません。	
~ E A 8 A D 2 1 .	<u>アドオン2 読み取り 有効</u> アドオン2 を読み取ります。	
~ E A 8 A D 2 0 .	<u>アドオン2 読み取り 有効</u> アドオン2 を読み取りません。	■
~ E A 8 A D 5 1 .	<u>アドオン5 読み取り 有効</u> アドオン5 を読み取ります。	
~ E A 8 A D 5 0 .	<u>アドオン5 読み取り 有効</u> アドオン5 を読み取りません。	■
~ E A 8 A R Q 1 .	<u>アドオン必須読み取り 有効</u> アドオン付 EAN/JAN-8 だけを読み取ります。	
~ E A 8 A R Q 0 .	<u>アドオン必須読み取り 有効</u> アドオン無しとアドオン付の EAN/JAN-8 を読み取ります。	■
~ E A 8 A D S 1 .	<u>アドオンセパレータ 有効</u> アドオンデータの前にセパレータとして、スペースを挿入します。	
~ E A 8 A D S 0 .	<u>アドオンセパレータ 有効</u> スペースを挿入しません。	■
~ E A N E M U 4 .	<u>EAN-8→EAN-13 変換 有効</u> EAN-8 データを EAN-13 に変換します。	

4.10.17 MSI の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ M S I D F T .	<u>MSI 全デフォルト</u> MSI に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ M S I E N A 1 .	<u>MSI 読み取り 1</u> MSI を読み取ります。	
 ~ M S I E N A 0 .	<u>MSI 読み取り 0</u> MSI を読み取りません。	■
 ~ M S I C H K 0 .	<u>チェックビット 0/送信 0</u> チェックビット(タイプ 10)検査をしますが、送信は行いません。	■
 ~ M S I C H K 1 .	<u>チェックビット 0/送信 0</u> チェックビット(タイプ 10)検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 2 .	<u>チェックビット 2/送信 0</u> チェックビット(タイプ 10)x2 検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ M S I C H K 3 .	<u>チェックビット 2/送信 0</u> チェックビット(タイプ 10)x2 検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 4 .	<u>チェックビット 2-10/11 0/送信 0</u> チェックビット(タイプ 10) & (タイプ 11) 検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ M S I C H K 5 .	<u>チェックビット 2-10/11 0/送信 0</u> チェックビット(タイプ 10) & (タイプ 11) 検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 6 .	<u>チェックビット 無し</u> チェックビット検査を行いません。	

 ~ M S I M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記の「マストバーコード」をスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 4~48 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコード をスキャンします。	4
 ~ M S I M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記の「マストバーコード」をスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 4~48 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコード をスキャンします。	48
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.18 GS1 Databar Omnidirectional の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ R S S D F T .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Omnidirectional に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S S E N A 1 .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>読み取り 有効</u> GS1 Databar Omnidirectional を読み取ります。	■
 ~ R S S E N A 0 .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>読み取り 無効</u> GS1 Databar Omnidirectional を読み取りません。	

4.10.19 GS1 Databar Limited の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ R S L D F T .	<u>GS1 Databar Limited</u> <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Limited に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S L E N A 1 .	<u>GS1 Databar Limited</u> <u>読み取り 有効</u> GS1 Databar Limited を読み取ります。	■
 ~ R S L E N A 0 .	<u>GS1 Databar Limited</u> <u>読み取り 無効</u> GS1 Databar Limited を読み取りません。	

4.10.20 GS1 Databar Expanded の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ R S E D F T .	<u>GS1 Databar Expanded</u> <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Expanded に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S E E N A 1 .	<u>GS1 Databar Expanded</u> <u>読み取り 有効</u> GS1 Databar Expanded を読み取ります。	■
 ~ R S E E N A 0 .	<u>GS1 Databar Expanded</u> <u>読み取り 無効</u> GS1 Databar Expanded を読み取しません。	
 ~ R S E E M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を4~74の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ R S E E M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を4~74の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	74
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.21 GS1 イミレーションの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ E A N E M U 0 .	<u>GS1 イミレーション 無し</u> GS1 イミレーションを行いません。	■
 ~ E A N E M U 1 .	<u>GS1-128 イミレーション有り</u> 全リテラルコード (UPC/EAN/JAN)は、 16 桁に拡張され、AIM ID が有効 であれば、読取データの先頭に AIM ID の JC1 を付加します。	
 ~ E A N E M U 2 .	<u>GS1 Databar イミレーション 有り</u> 全リテラルコード (UPC/EAN/JAN)は、 16 桁に拡張され、AIM ID が有効 であれば、読取データの先頭に AIM ID の je0 を付加します。	

4.11 スタックシンボルの読み取り設定

4.11.1 Trioptic コード の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T R I E N A 1 .	Trioptic コード 読み取り <u>を</u> Trioptic コード を読み取ります。	
 ~ T R I E N A 0 .	Trioptic コード 読み取り <u>を</u> Trioptic コード を読み取りません。	■

- Trioptic コード は、磁気記録媒体のラベル表示に使用されています。
- コード 32(PARAF)を読み取る場合は、必ず Trioptic コード の読み取りををにしてください。(本書「4.10.2 コード 39 の設定」参照)

4.11.2 コーダブロック A の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C B A D F T .	コードブロック A 全デフォルト コードブロック A に関する設定を全て デフォルトに戻します。	
 ~ C B A E N A 1 .	コードブロック A 読み取り オン コードブロック A を読み取ります。	
 ~ C B A E N A 0 .	コードブロック A 読み取り オフ コードブロック F を読み取りません。	■
 ~ C B A M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~600 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ C B A M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~600 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	600
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.3 コーダブロック F の設定

マストバーコード	説明	デフォルト
~ C B F D F T .	コーダブロック F 全デフォルト コーダブロック F に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
~ C B F E N A 1 .	コーダブロック F 読み取り オン コーダブロック F を読み取ります。	
~ C B F E N A 0 .	コーダブロック F 読み取り オフ コーダブロック F を読み取りません。	■
~ C B F M I N .	最小桁数 設定開始 左記のマストバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~2,048 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコード をスキャンします。	1
~ C B F M A X .	最大桁数 設定開始 左記のマストバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~2,048 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコード をスキャンします。	2,048
数値バーコード 表		
0	1	
2	3	
4	5	
6	7	
8	9	
確定	破棄	

4.11.4 PDF417 の設定

コマンド バージョ	説明	デフォルト
 ~ P D F D F T .	PDF417 全デフォルト PDF417に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ P D F E N A 1 .	PDF417 読み取り 有効 PDF417 を読み取ります。	■
 ~ P D F E N A 0 .	PDF417 読み取り 無効 PDF417 を読み取りません。	
 ~ P D F M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バージョ をスキャン後、 「数値バージョン 表」から最小桁数を 1~2,750 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バージョン をスキャンします。	1
 ~ P D F M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バージョ をスキャン後、 「数値バージョン 表」から最大桁数を 1~2,750 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バージョン をスキャンします。	2,750
数値バージョン 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.5 マイクロ PDF417 の設定

マイクロバーコード	説明	デフォルト
 ~ M P D D F T .	マイクロ PDF417 全デフォルト マイクロ PDF417 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ M P D E N A 1 .	マイクロ PDF417 読み取り 有効 マイクロ PDF417 を読み取ります。	
 ~ M P D E N A 0 .	マイクロ PDF417 読み取り 無効 マイクロ PDF417 を読み取りません。	■
 ~ M P D M I N .	最小桁数 設定開始 左記のマイクロバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~366 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ M P D M A X .	最大桁数 設定開始 左記のマイクロバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~366 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	366
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.6 GS1 コドバツトの設定

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ C O M E N A 1 .	<u>GS1 コドバツト読み取り オ</u> GS1 コドバツトを読み取ります。	
 ~ C O M E N A 0 .	<u>GS1 コドバツト読み取り オ</u> GS1 コドバツトを読み取りません。	■
 ~ C O M U P C 1 .	<u>UPC/EAN コドバツト読み取り オ</u> UPC 及び EAN コドバツトを読み取ります。(この設定は、GS1-128 及び GS1 Databar からなるコドバツトコードには影響しません。)	
 ~ C O M U P C 0 .	<u>UPC/EAN コドバツト読み取り オ</u> UPC 及び EAN コドバツトを読み取りません。(この設定は、GS1-128 及び GS1 Databar からなるコドバツトコードには影響しません。)	■
 ~ C O M M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバ-コード をスキャン後、 「数値バ-コード 表」から最小桁数を 1~2,435 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バ-コード をスキャンします。	1
 ~ C O M M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバ-コード をスキャン後、 「数値バ-コード 表」から最大桁数を 1~2,435 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バ-コード をスキャンします。	2,435
数値バ-コード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.7 TLC39 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ T 3 9 E N A 1 .	<u>TLC39 読み取り オ</u> TLC39(TCIF Linked Code39)を 読み取ります。	
 ~ T 3 9 E N A 0 .	<u>TLC39 読み取り オフ</u> TLC39(TCIF Linked Code39)を 読み取りません。	■

TLC39 は、コード 39 とマイク PDF417 から成るス tack シンボルです。

4.12 マトリクスシボルの読み取り設定

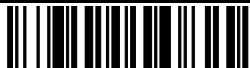
4.12.1 QR/マイト QR の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ Q R C D F T .	QR/マイク QR 全デフォルト QR/マイク QR に関する設定を全て デフォルトに戻します。	
 ~ Q R C E N A 1 .	QR/マイク QR 読み取り 有効 QR/マイク QR を読み取ります。	■
 ~ Q R C E N A 0 .	QR/マイク QR 読み取り 無効 QR/マイク QR を読み取りません。	
 ~ Q R C M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~7,089 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコード をスキャンします。	1
 ~ Q R C M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~7,089 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコード をスキャンします。	7,089
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.12.2 データマトリクス設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ I D M D F T .	データマトリクス全デフォルト データマトリクスに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ I D M E N A 1 .	データマトリクス読み取り <u>ON</u> データマトリクスを読み取ります。	■
 ~ I D M E N A 0 .	データマトリクス読み取り <u>OFF</u> データマトリクスを読み取りません。	
 ~ I D M M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~3,116 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ I D M M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~3,116 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	3,116
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.12.3 マジックの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ M A X D F T .	マシコード 全デフォルト マシコードに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ M A X E N A 1 .	マシコード 読み取り 有効 マシコードを読み取ります。	■
 ~ M A X E N A 0 .	マシコード 読み取り 無効 マシコードを読み取りません。	
 ~ M A X M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~150 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコード をスキャンします。	1
 ~ M A X M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~150 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコード をスキャンします。	150
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.12.4 Aztec の設定

マツトバ-コード	説明	デフォルト
 ~ A Z T D F T .	<u>Aztec 全デフォルト</u> Aztec に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ A Z T E N A 1 .	<u>Aztec 読み取り 有効</u> Aztec を読み取ります。	■
 ~ A Z T E N A 0 .	<u>Aztec 読み取り 無効</u> Aztec を読み取りません。	
 ~ A Z T M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のマツトバ-コード をスキャン後、 「数値バ-コード 表」から最小桁数を 1~3,832 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バ-コード をスキャンします。	1
 ~ A Z T M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のマツトバ-コード をスキャン後、 「数値バ-コード 表」から最大桁数を 1~3,832 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バ-コード をスキャンします。	3,832
数値バ-コード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.13 郵便シボールの読み取り設定

4.13.1 2D 郵便シボールの設定

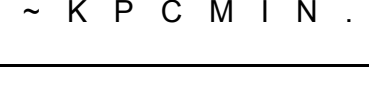
2D 郵便シボールは、一度に 1 種のみ読み取りを有効にすることができます。複数種の 2D 郵便シボールを読み取る必要がある場合は、弊社までご相談ください。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
全ての 2D 郵便シボール読み取りを無効にする		
 ~ N E T E N A 1 .	<u>全 2D 郵便シボール 刈</u> 全ての 2D 郵便シボールを読み取りません。	■
1 つの 2D 郵便シボール読み取りを有効にする		
 ~ P O S T A L 1 .	<u>オーストラリア郵便シボール読み取り 刈</u> オーストラリア郵便シボールを読み取ります。	
 ~ P O S T A L 7 .	<u>英国郵便シボール読み取り 刈</u> 英国郵便シボールを読み取ります。	
 ~ P O S T A L 3 0 .	<u>カナダ郵便シボール読み取り 刈</u> カナダ郵便シボールを読み取ります。	
 ~ P O S T A L 3 .	<u>日本郵便シボール読み取り 刈</u> 日本郵便シボール(カスタムバーコード)を読み取ります。	
 ~ P O S T A L 4 .	<u>KIX 郵便シボール読み取り 刈</u> KIX 郵便シボールを読み取ります。	
 ~ P O S T A L 5 .	<u>Planet 郵便シボール読み取り 刈</u> Planet 郵便シボールを読み取ります。	
 ~ P O S T A L 6 .	<u>Postnet 郵便シボール読み取り 刈</u> Postnet 郵便シボールを読み取ります。	

4.13.2 中国郵便コードの設定

マストバーコード	説明	デフォルト
 ~ C P C D F T .	中国郵便コード 全デフォルト 中国郵便コードに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C P C E N A 1 .	中国郵便コード 読み取り 有効 中国郵便コードを読み取ります。	
 ~ C P C E N A 0 .	中国郵便コード 読み取り 無効 中国郵便コードを読み取りません。	■
 ~ C P C M I N .	最小桁数 設定開始 左記のマストバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ C P C M A X .	最大桁数 設定開始 左記のマストバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.13.3 韓国郵便コードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K P C D F T .	韓国郵便コード 全デフォルト 韓国郵便コードに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ K P C E N A 1 .	韓国郵便コード 読み取り <u>か</u> 韓国郵便コードを読み取ります。	
 ~ K P C E N A 0 .	韓国郵便コード 読み取り <u>か</u> 韓国郵便コードを読み取りません。	■
 ~ K P C M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 2~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」 バーコードをスキャンします。	4
 ~ K P C M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 2~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」 バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

Blank page

5. シリアルコマンド

シリアルコマンドを使うことで、パラメータの設定や取得、シリアルリカ制御、イメージ取り込みなどを行うことが可能になります。

5.1 メニューコマンド

メニューコマンドは、パラメータ設定や取得を行うためのコマンド群です。下記にメニューコマンドフォーマットを示します。

プレフィックス: イメージ名: タグ サブタグ データ サブタグ データ タグ サブタグ データ メモリ

* [] は、省略可能なオプションフィールドです。

プレフィックス フィールド

<SYN>M<CR> 固定です。(<SYN>=16hex, M=4Dhex, <CR>=0Dhex)

:イメージ名: フィールド

特定のイメージにメニューコマンドを送信したい場合に、:Xenon: などイメージ名をコロンで囲んで指定します。イメージ名が分からない場合は、ワイルドカード * を指定することもできます。

タグ フィールド

メニューコマンドのカテゴリを識別する3文字です。例えば、RS232C 関連のメニューコマンドのタグは、232 です。

サブタグ フィールド

タググループ内のパラメータ項目を識別する3文字です。例えば、RS232C のポートは、BAD です。

データ フィールド

パラメータの設定を行う場合は、新しい設定値を指定します。設定できる値はメニューコマンドにより異なります。

パラメータの設定値や設定範囲を取得しようとする場合は、下記に示す何れかの文字を指定します。

^(5Ehex) デフォルト設定を取得

?(3Fhex) 現在の設定を取得

*(2Ahex) 設定範囲を取得

(* 連続値は - で区切られ、不連続値は | で区切られます)

メモリフィールド

設定値の保存先又は取得先を指定します。揮発性 RAM メモリ領域を保存先/取得先にする場合は、「!」(21hex)を指定し、不揮発性メモリを保存先/取得先にする場合は、「.」(2Ehex)を指定します。不揮発性メモリを保存先にした場合、電源を落としても設定値は消えません。

タグフィールド、サブタグフィールド、データフィールドの値は、本書「4. パラメータ設定」に掲載しているコマンドバーコードのヒューマンリダブル文字を参照してください。

タグフィールド	コマンドバーコード	説明	デフォルト
BEP		プラグ回数設定開始(1~9) 左記のコマンドバーコードを1~9回繰り返して「数値バーコード表」から設定したい回数を1~9の範囲で入力し、最後に「確定」バーコードを入力します。	1
サブタグフィールド	RPT		データフィールド 1~9

複数メニューコマンドの連結

1つのメニューコマンドフォーマット内で複数のメニューコマンドを指定する場合は、下記に示す何れかのセパレータで区切ります。

セパレータ	説明
, (2Chex)	同じタググループのメニューコマンドを続けて指定する場合は、カンマで区切り、サブタグフィールドとデータフィールドを指定します。
; (3Bhex)	異なるタググループのメニューコマンドを続けて指定する場合は、セミコロンで区切り、タグフィールド～データフィールドを指定します。

レスポンスキャラクタ

メニューコマンドを受信すると、下記に示す何れかのレスポンスキャラクタを返します。

レスポンス	説明
ACK(06hex)	正しくコマンドを実行したことを意味します。
ENQ(05hex)	タグフィールド 又は サブタグフィールド の指定値が無効です。
NAK(15hex)	データフィールド の指定値が範囲外です。

パラメータ設定値の取得例

例 1) コーダバー (NW7)読み取りの初期値を取得

```

メニューコマンド : cbrna^
レスポンス       : CBRENA1<ACK>
                  * <ACK> = 06hex
初期値が 1 であることが分かります。

```

例 2) コーダバー (NW7)に関する全設定値を取得

```

メニューコマンド : cbr?
レスポンス       : CBRENA1<ACK>,
                  SSX0<ACK>,
                  CK20<ACK>,
                  CCT1<ACK>,
                  MIN2<ACK>,
                  MAX60<ACK>,
                  DFT<ACK>.
                  * <ACK> = 06hex

```


5.2 シリアルトリガ コマンド

下記のシリアルトリガ コマンド を発行することで、ワイヤレスイメージャの読み取り開始・終了をコントロールすることができます。「4.8.1 マニュアル/シリアルトリガ モード の設定」を参照下さい。

<SYN> T <CR>	読み取りを開始します。
<SYN> U <CR>	読み取りを終了します。
* <SYN> = 16hex, <CR> = 0Dhex	

5.3 イメージング コマンド

イメージャは、下記に示すイメージング コマンド に適切なデフォルトを指定して発行することで、イメージの取り込みを行います。一度、イメージ取り込みが終了すると、イメージャは全ての設定をデフォルト値に戻します。デフォルト値を変更したい場合は、「5.4 イメージング デフォルトコマンド」を参照して、シリアルコマンド を発行してください。

IMG SNP イメージ スナップ

イメージの取り込みは、イメージャのトリガ を引いた時及びイメージ スナップ コマンド (IMG SNP) が発行された時に行われます。イメージ スナップ は、イメージ キャプチャ及び写真撮影のコマンド プロセッサになります。

イメージ スナップ コマンド には、メモリされたイメージ を修正・加工するための多くのデフォルトが用意されています。

デフォルトは、常に数字で始まり、アルファベット(大文字・小文字の区別無し)で終わるフォーマットです。イメージ スナップ コマンド (IMG SNP)に続けて、必要なデフォルトを指定します。例えば、ゲインを中・レベル 音を 1 回鳴動(スナップ 完了後)させる場合、IMG SNP コマンド は、下記のようになります。

IMG SNP2G1B

IMG SNP デフォルト

P: イメージング スタイル

イメージ スナップ スタイルを指定します。

0P デコード イング スタイル

デコード 用の一般的なフォーマットと類似していますが、撮影パラメータに合うまで数フレームを取り込みます。最後に取り込んだフレームを後で利用することができます。

1P フォトスタイル(デフォルト)

デジタルカメラのように利用できるスタイルで、視覚的に最適化されたイメージを取り込みます。

2P マニュアルスタイル

これは高度なスタイルとなるため、通常は使用しないでください。イメージャを自由に設定できますが、自動撮影機能はありません。

B: ビープ

スナップ完了後、ビープを鳴動するかを指定します。

0B ビープを鳴動しません。(デフォルト)

1B イメージ取り込み後、ビープを鳴動します。

T: トリガ待ち

トリガが押されるのを待って、イメージの取り込みを行うのかを指定します。
(このオプションは、マニュアルスタイルのみ有効です。)

0T イメージをすぐに(トリガ待ち無し)取り込みます。(デフォルト)

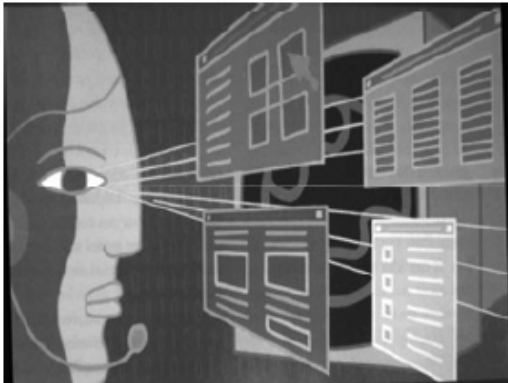
1T トリガが押されるのを待って、イメージを取り込みます。

E: 露出時間

露出時間を 127 μ 秒単位で指定します。(このオプションは、マニュアルスタイルのみ有効です。)

nE n を 1~7,874 の範囲で指定します。(デフォルト 7,874)

例 1) 蛍光灯下 : 露出時間 7874E



例 2) 蛍光灯下 : 露出時間 100E



G: ゲイン

シグナルを増幅し、ピクセル値を倍増させるかを指定します。(このオプションは、マニュアルスタイルのみ有効です。)

1G ゲイン無し (デフォルト)

2G ゲイン中

4G ゲイン大

8G ゲイン最大

例 1) ゲイン : 1G



例 2) ゲイン : 4G



例 3) ゲイン : 8G



W: ターゲット柯卜値

取り込んだイメージのグレースケール中央値のターゲット値を指定します。コントラストの高い文書を接写する場合は、75のような低い値を指定します。値を大きくすると、露出時間が長くなり、明るいイメージになりますが、高すぎると、露出オーバーになります。(このデフォルトは、フォトスタイルのみ有効です。)

nW n を 0~255 の範囲で指定します。(デフォルト 125)

例 1) 柯卜値 : 75W



例 2) 柯卜値 : 125W



例 3) 柯卜値 : 200W

**D: 許容デルタ**

柯卜値(W: ターゲット柯卜値)の許容範囲を指定します。(このデフォルトは、フォトスタイルのみ有効です。)

nD n を 0~255 の範囲で指定します。(デフォルト 255)

U: アップデートトライ回数

許容デルタを達成するために取り込みを行う最大フレーム数を指定します。(このデフォルトは、フォトスタイルのみ有効です。)

nU n を 0~10 の範囲で指定します。(デフォルト 6)

L: LED ステート

読取 LED を照射するか、しないかを指定します。オートスタンドに設置して、ID カードのような紙文書のイメージを取り込む場合は、周囲照明(0L)を指定し、手持ちでイメージを取り込む場合は、読取 LED を照射(1L)します。(このデフォルトは、デコデイングスタイルには使えません。)

0L 読取 LED を照射しません。(デフォルト)

1L 読取 LED を照射します。

% : ターゲットセットポイント

取り込んだイメージのライト値とダーク値のターゲットポイントをパーセンテージで指定します。75%を指定した場合、75%のピクセルがターゲットライト値以下で、25%がターゲットライト値より上であるという意味になります。通常、このモディファイアは、デフォルト値でお使い下さい。

n% n を 1~99 の範囲で指定します。(デフォルト 50)

例 1) セットポイント : 97% 例 2) セットポイント : 50% 例 3) セットポイント : 40%

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Curabitur massa. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Donec interdum volutpat arcu. Proin sed turpis. Donec

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Curabitur massa. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Donec interdum volutpat arcu. Proin sed turpis. Donec

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Curabitur massa. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Donec interdum volutpat arcu. Proin sed turpis. Donec

IMGSHP イメージシャッフ

イメージの取り込みは、イメージャのトリガを引いた時及びイメージシャッフコマンド (IMGSNP) が発行された時に行われ、最後に取り込んだイメージが常にイメージャにメモリされています。

イメージシャッフコマンドには、送信イメージを修正・加工するための多くのモディファイアが用意されています。イメージシャッフコマンドで行われるイメージの修正・加工はあくまでも送信イメージに対して行われるもので、イメージャがメモリしているイメージには影響を与えません。

モディファイアは、常に数字で始まり、アルファベット(大文字・小文字の区別無し)で終わるフォーマットです。イメージシャッフコマンド (IMGSHP) に続けて、必要なモディファイアを指定します。例えば、ガソ補正・文書イメージフィルタを行ったイメージを送信させる場合、IMGSHP コマンドは、下記のようになります。

IMGSNP;IMGSHP8F75K26U

IMGSHP モディファイア

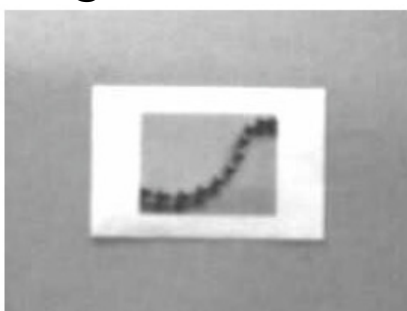
A : インフィニティフィルタ

長距離(3m 以上)から撮影されたイメージの画像を高めるフィルタです。

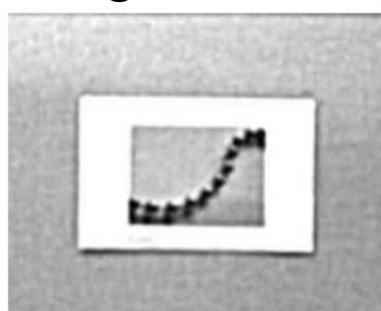
0A インフィニティフィルタを使用しません。(デフォルト)

1A インフィニティフィルタを使用します。

例 1) インフィニティフィルタ : 0A
@ 距離 約 3.66m



例 2) インフィニティフィルタ : 1A
@ 距離 約 3.66m



C: 光沢補正

照明の変化によるイメージへの光沢を平滑補正します。

0C 光沢補正を使用しません。(デフォルト)

1C 光沢補正を使用します。

例 1) 光沢補正 : 0C



例 2) 光沢補正 : 1C

D: グレースケール

送信イメージをグレースケールにするか、白黒にするかを指定します。(このオプションは、KIM と BMP フォーマットのみ有効です。)

8D グレースケール(8ビットピクセル)で送信します。(デフォルト)

1D 白黒(1ビットピクセル)で送信します。

E: イッジシャープフィルタ

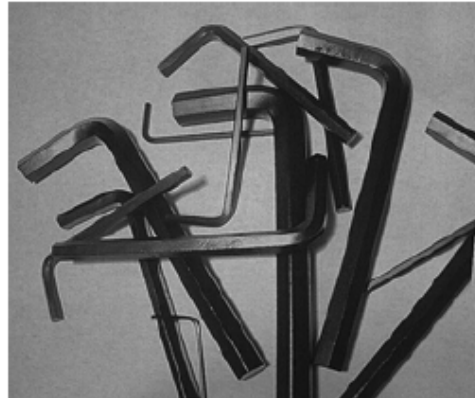
送信イメージのイッジをシャープにするかを指定します。24 が一番イッジがシャープになりますが、ノイズも多くなります。通常のイメージには、13 程度の値を使用します。

nE n を 0~24 の範囲で指定します。(デフォルト 0)

例 1) イッジフィルタ : 0E



例 2) イッジフィルタ : 24E



F: ファイルフォーマット

送信イメージのファイルフォーマットを指定します。

- 0F** KIM
- 1F** TIFF バイナリ
- 2F** TIFF バイナリ グループ 4, 圧縮
- 3F** TIFF グレースケール
- 4F** 非圧縮バイナリ TIFF(左上~右下, 1ピクセル/ビット, 最終行 0 詰め)
- 5F** 非圧縮グレースケール(左上~右下, ビットマップフォーマット)
- 6F** JPEG イメージ (デフォルト)
- 8F** BMP イメージ (右下~左上, 圧縮無し)

H: ヒストグラムストレッチ

送信イメージのコントラストを高めます。(このデフォルトは、幾つかのイメージフォーマットでは無効です。)

- 0H** ヒストグラムストレッチを使用しません。(デフォルト)
- 1H** ヒストグラムストレッチを使用します。

例 1) ヒストグラムストレッチ : 0H



例 2) ヒストグラムストレッチ : 1H



I: イメージ反転

送信イメージをX軸又はY軸に対して反転させます。

1iX X軸に対して、反転させます。(上下反転)

1iY Y軸に対して、反転させます。(左右反転)

例 1) オリジナル画像



例 2) イメージ反転 : 1iX



例 3) イメージ反転 : 1iY

IF: ノイズ除去

送信イメージのノイズを除去します。

0if ノイズを除去します。(デフォルト)

1if ノイズを除去しません。

例 1) ノイズ除去 : 0if



例 2) ノイズ除去 : 1if



IR : イメージ回転

送信イメージを回転させます。

0ir 回転させません。

1ir 右 90° 回転させます。

2ir 右 180° 回転させます。

3ir 左 90° 回転させます。

例 1) イメージ回転 : 0ir



例 2) イメージ回転 : 1ir



例 3) イメージ回転 : 2ir



例 4) イメージ回転 : 3ir



J : JPEG イメージ品質

送信したい JPEG イメージ品質を指定します。高い値を指定すると、イメージは高画質になりますが、ファイルサイズが大きくなります。逆に低い値を指定すると、画質は悪くなりますが、ファイルサイズが小さくなり、送信時間も短くなります。

nJ n を 0~100 の範囲で指定します。(デフォルト 50)

K: ガン補正

送信イメージのガン補正値を指定します。高い値を指定すると、イメージはより明るくなり、低い値を指定すると、イメージはより暗くなります。
テストイメージを補正する場合の推奨補正値は、50 です。

nK n を 0~1000 の範囲で指定します。(デフォルト 0)

例 1) ガン補正 : 0K



例 2) ガン補正 : 50K



例 3) ガン補正 : 255K

**L, R, T, B: イメージトリミング**

送信イメージをトリミング (切り取り) する座標をピクセルで指定します。

nL n を 0~1279 の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの左座標になります。(デフォルト 0)

nR n を 0~1279 の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの右座標になります。
(デフォルト 最大値 *機種により異なります(Xenon=835))

nT n を 0~959 の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの上座標になります。(デフォルト 0)

nB n を 0~959 の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの下座標になります。
(デフォルト 最大値 *機種により異なります(Xenon=639))

M: イメージトリミングマージン

イメージトリミング (L, R, T, B) の代わりに、送信イメージの外側からトリミングするマージンをピクセルで指定し、囲まれた中央部の画像を送信イメージとします。

nM n を 0~238 の範囲で指定します。左から n ピクセル、右から n+1 ピクセル、上から n ピクセル、下から n+1 ピクセルで囲まれた部分をトリミングします。

P: フォーマット

イメージ送信に使用するフォーマットを指定します。

0P フォーマット 無し(生データ)

2P フォーマット 無し(USB のデフォルト)

3P H-MODEM 圧縮(RS232C のデフォルト)

4P H-MODEM

S: ピクセル送信

イメージのピクセル送信規則を指定します。例えば、3 を指定した場合、イメージの水平・垂直 3 ピクセル毎に送信するため、間のピクセルが間引かれ、画像が小さくなります。

- 1S** 全ピクセルを送信します。
- 2S** 水平・垂直 2 ピクセル毎に送信します。(デフォルト)
- 3S** 水平・垂直 3 ピクセル毎に送信します。

例 1) ピクセル送信 : 1S



例 2) ピクセル送信 : 2S



例 3) ピクセル送信 : 3S



U: テキストイメージフィルタ

送信テキストイメージのノイズを滑らかにし、ノイズをシャープにします。テキストイメージフィルタは、ID カードや処方箋などのイメージ取り込みに有効で、イメージャをオートスタンドに設置して、先のがソマ補正と一緒に使用します。下記にIMGSHF コマンドの例を示します。

IMGSNP1P0L168W90%32D

テキストイメージフィルタは、通常のノイズフィルタ(E)より良質の JPEG 圧縮イメージを提供します。また、このフィルタは、白黒イメージ(1ビットピクセル)にも最適です。このフィルタの推奨値は、23 です。

- nU** n を 0~255 の範囲で指定します。指定された n をグレースケールスリットとして、テキストイメージフィルタを実行します。通常、イメージのコントラストが低い場合は、小さい値を指定します。このフィルタの 1 が、ノイズフィルタの 22 と同等の効果があります。(デフォルト 0)

例 1) テキストイメージフィルタ : 0U



例 2) テキストイメージフィルタ : 26U



V: イメージぼかし効果

送信イメージにぼかし効果を行うかを指定します。

0V ぼかし効果を行いません。(デフォルト)

1V ぼかし効果を行います。

例 1) イメージぼかし効果 : 0V



例 2) イメージぼかし効果 : 1V

W: ヒストグラム送信

送信イメージのヒストグラムを送信するかを指定します。ヒストグラムはイメージの色調・キチア°を知るのに役立ちます。ローキチア°は、影掛かったイメージ、ハイキチア°は、明るい光輝なイメージ、マレージキチア°は、その中間的な色調のイメージになります。

0W ヒストグラム送信を行いません。(デフォルト)

1W ヒストグラム送信を行います。

例 1) ヒストグラム送信 : 0W



例 2) ヒストグラム送信 : 1W



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ I M G V G A 1 .	イメージサイズ 640x480 ピクセル(VGA)	■
 ~ I M G V G A 0 .	イメージサイズ ネティブサイズ	

IMGBOX インテリジेंटサインキャプチャ

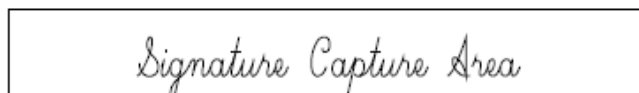
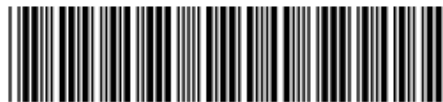
インテリジेंटサインキャプチャは、コードに隣接する指定領域のイメージをホストへ送信する機能です。これにより、ファイルサイズを縮小し、転送速度を高めめます。IMGBOX コマンドには、取り込みたいイメージ領域のサイズ、コードからの垂直・水平方向の距離の指定が必要です。また、最終的に出力するファイルフォーマットや解像度なども同時に指定することができます。

頻繁にインテリジेंटサインキャプチャを行う場合は、最適化を有効することをお奨めます。但し、最適化を有効にすると、コードの読取速度は若干遅くなります。

コマンド バージョン	説明	デフォルト
 ~ D E C B N D 1 .	最適化 有効	
 ~ D E C B N D 0 .	最適化 無効	■

下記にインテリジेंटサインキャプチャを利用した、サイン取り込みを行う例を示します。

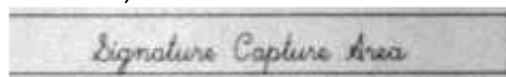
イメージをサイン領域の中央に照射し(バージョンに合わせない)、トリガを引いて、コード 128 を読み取ります。グッドリードボタンが鳴動し、読み取ったデータはホストへ送信されます。これで IMGBOX コマンド発行の準備が整いました。IMGBOX コマンドを発行してサイン領域を取り込みます。



ここで重要なのは、IMGBOX コマンドで指定するサイズがバージョンの細目サイズを基準にした値である点です。バージョンの最小細目を基準にすることで、イメージの距離に関係することなく、目的のサインイメージがあるエリアを常に正しく取り込むことが可能になります。この例では、下記の IMGBOX コマンドを発行します。

IMGBOX245w37h55y

例) 取り込んだ画像イメージ

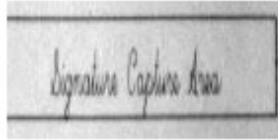


IMGBOX コマンドは、PDF417, コード 39, コード 128, Aztec, コーダバ (NW7), インターブート 25 との組み合わせでのみ使用できます。これらのコードが読まれると、イメージは、IMGBOX コマンドのために、イメージ画像を保持します。

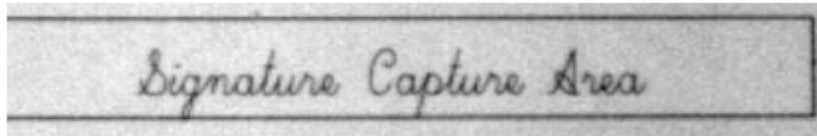
IMGBOX モデ ィアイ**A: 出力イメジ 幅**

送信イメジ の水平方向のサイズ (幅)を指定します。このオプションを指定する場合は、サインイメジ 解像度 R で 0(ゼロ)を指定して下さい。

例 1) 出力イメジ 幅 : 200A

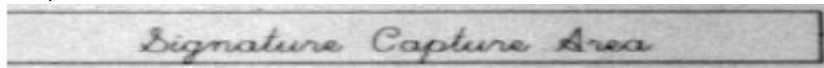


例 1) 出力イメジ 幅 : 600A

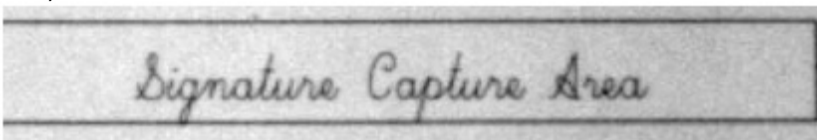
**B: 出力イメジ 高**

送信イメジ の垂直方向のサイズ (高さ)を指定します。このオプションを指定する場合は、サインイメジ 解像度 R で 0(ゼロ)を指定して下さい。

例 1) 出力イメジ 幅 : 50B



例 1) 出力イメジ 幅 : 100B

**D: グレースケール**

送信イメジ をグレースケールにするか、白黒にするかを指定します。

8D グレースケール(8ビットピクセル)で送信します。(デフォルト)

1D 白黒(1ビットピクセル)で送信します。

F: ファイルフォーマット

送信イメジ のファイルフォーマットを指定します。

0F KIM

1F TIFF バイナリ

2F TIFF バイナリ グループ 4, 圧縮

3F TIFF グレースケール

4F 非圧縮バイナリ TIFF(左上~右下, 1ピクセル/ビット, 最終行 0 詰め)

5F 非圧縮グレースケール(左上~右下, ビットマップフォーマット)

6F JPEG イメジ (デフォルト)

8F BMP イメジ (右下~左上, 圧縮無し)

H: サインイメージエリアの高さ

サインイメージエリアの高さを指定します。測定単位は、1インチを 0.01 で割った値になります。例えば、高さ 3/8 インチのエリアを取り込みたい場合、 $0.375/0.01 = 37.5$ となるので、37h を指定します。

nh n にサインイメージエリアの高さを指定します。

IMGBOX245w**37h**55y.

K: ガンマ補正

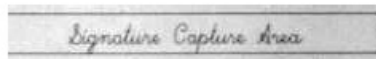
送信イメージのガンマ補正値を指定します。高い値を指定すると、イメージはより明るくなり、低い値を指定すると、イメージはより暗くなります。テキストイメージを補正する場合の推奨補正値は、50 です。

nK n を 0~255 の範囲で指定します。(デフォルト 0)

例 1) ガンマ補正 : 0K



例 2) ガンマ補正 : 50K



例 3) ガンマ補正 : 255K

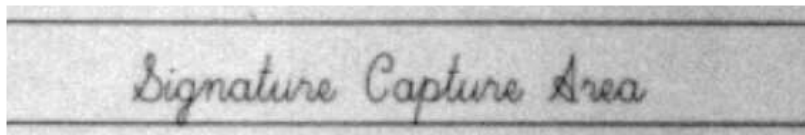


R: サインイメージ解像度

取得したいサインイメージの解像度をピクセル数で指定します。大きい値を指定すると、解像度の高いイメージを取得できますが、ファイルサイズが大きくなり、転送時間が遅くなります。

nR n にサインイメージの解像度を指定します。

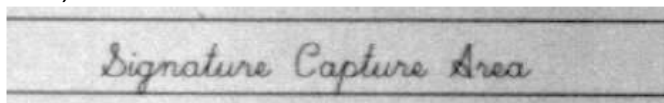
例 1) サインイメージ解像度: 0R



例 2) サインイメージ解像度: 1000R



例 3) サインイメージ解像度: 2000R



S: バーコード 縦横比

バーコードの高さと細ピッチの比率を指定します。先の例では、細ピッチが 0.010 インチ(0.254mm)、高さが 0.400 インチ(10.16mm)なので、 $S=0.400/0.010=40$ となります。

nS n にバーコード 縦横比を指定します。

W: サインイメージエリアの幅

サインイメージエリアの幅を指定します。測定単位は、インチを 0.01 で割った値になります。例えば、幅 2.4 インチのエリアを取り込みたい場合、 $2.4/0.01 = 240$ となるので、240w を指定します。

nH n にサインイメージエリアの幅を指定します。

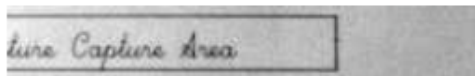
IMGBOX245w37h55y.

X: バーコード 水平オフセット

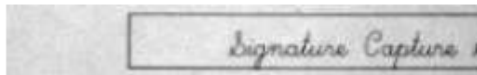
サインイメージエリアの中心から見たバーコード位置を水平オフセット値として指定します。先の例では、0 となります。

nX n にバーコード 水平オフセット値を指定します。

例 1) バーコード 水平オフセット : 75X



例 2) バーコード 水平オフセット : -75X

**Y: バーコード 垂直オフセット**

サインイメージエリアの中心から見たバーコード位置を垂直オフセット値として指定します。先の例では、細ピッチが 0.010 インチ(0.254mm)で、サインイメージエリアの中心から垂直に 0.7 インチ(17.78mm)の位置にバーコードがあるので、 $Y=0.7/0.01=70$ となります。

nY n にバーコード 垂直オフセット値を指定します。

例 1) バーコード 垂直オフセット : -7Y

例 2) バーコード 垂直オフセット : 65Y

5.4 イメージングデフォルトコマンド

イメージングデフォルトコマンド			
カテゴリ	設定内容	シリアルコマンド # = ()内の数値が入ります。	デフォルト
IMGSNP	全イメージングコマンドデフォルト	IMGDFT	
	イメージングスタイル：デコーディング	SNPSTY0	
	イメージングスタイル：フォト	SNPSTY1	■
	イメージングスタイル：マニュアル	SNPSTY2	
	ビーム：オン	SNPBEP1	
	ビーム：オフ	SNPBEP0	■
	トリガ待ち：無し	SNPTRG0	■
	トリガ待ち：有り	SNPTRG1	
	LEDテスト：オフ	SNPLED0	■
	LEDテスト：オン	SNPLED1	
	露出時間 (0 ~ 7,874, 単位 127 μ 秒)	SNPEXP####	7,874
	ゲイン無し	SNPGAN1	■
	ゲイン中	SNPGAN2	
	ゲイン大	SNPGAN4	
	ゲイン最大	SNPGAN8	
	ターゲットホワイト値 (0 ~ 255)	SNPWHT###	125
	許容デルタ (0 ~ 255)	SNPDEL###	25
	アップデータトライ回数 (0 ~ 10)	SNPTRY##	6
	ターゲットセットポイント (1 ~ 99)	SNPPCT##	50
IMGSHP	インフィニティフィルタ：オフ	IMGINF0	■
	インフィニティフィルタ：オン	IMGINF1	
	光沢補正：オフ	IMGCOR0	■
	光沢補正：オン	IMGCOR1	
	ゲレースケール：オン (8 ビットピクセル)	IMGBPP8	■
	ゲレースケール：オフ (1 ビットピクセル, 白黒)	IMGBPP1	
	エッジフィルタ (0 ~ 23)	IMGEDG##	0
	ファイルフォーマット：JPEG	IMGFMT6	■
	ファイルフォーマット：KIM	IMGFMT0	
	ファイルフォーマット：TIFF バイナリ	IMGFMT1	
	ファイルフォーマット：TIFF バイナリ Grp4 圧縮	IMGFMT2	
	ファイルフォーマット：TIFF ゲレースケール	IMGFMT3	
	ファイルフォーマット：非圧縮 バイナリ	IMGFMT4	
	ファイルフォーマット：非圧縮 ゲレースケール	IMGFMT5	
	ファイルフォーマット：BMP	IMGFMT8	
	ヒストグラムストレッチ：オフ	IMGHIS0	■
	ヒストグラムストレッチ：オン	IMGHIS1	
	ノイズ除去：オフ	IMGFSP0	■
	ノイズ除去：オン	IMGFSP1	
	イメージ反転：X 軸	IMGNVX1	
	イメージ反転：Y 軸	IMGNVY1	
	イメージ回転：右 90°	IMGROT1	
	イメージ回転：右 180°	IMGROT2	
	イメージ回転：左 90°	IMGROT3	
	JPEG イメージ品質 (0 ~ 100)	IMGJQF###	50
	ガンマ補正 (0 ~ 255)	IMGAM###	0
	イメージトリミング 左座標：(0 ~ 1279)	IMGWNL###	0
	イメージトリミング 右座標：(0 ~ 1279)	IMGWNR###	各機種最大値
	イメージトリミング 上座標 (0 ~ 959)	IMGWNT###	0
	イメージトリミング 下座標 (0 ~ 959)	IMGWNB###	各機種最大値
	イメージトリミング マージン (0 ~ 238)	IMGMAR###	0
	ポート：無し (生データ)	IMGXFR0	
	ポート：無し	IMGXFR2	☐ USB
	ポート：H-MODEM	IMGXFR3	
	ポート：H-MODEM 圧縮	IMGXFR4	☐ RS232C

<u>IMGSHP</u>	ビクセル送信: 全ビクセル	IMGSUB1	■
	ビクセル送信: 2ビクセル毎	IMGSUB2	
	ビクセル送信: 3ビクセル毎	IMGSUB3	
	テキストイメージフィルタ (0 ~ 255)	IMGUSH###	0
	ヒストグラム送信 : オフ	IMGHST0	■
	ヒストグラム送信 : オン	IMGHST1	
<u>その他</u>	解像度: VGA モード	IMGVGA1	
	解像度: ネイティブ モード	IMGVGA0	■
	インテリジ エントサインキャプチャ: 最適化 有効	DECBND1	
	インテリジ エントサインキャプチャ: 最適化 有効	DECBND0	■

Blank page

A.1 コード ID 表

シンボル	AIM-ID	AIM モデ ィファイア(m)	コード ID
全シンボル			(0x99)
オーストラリア郵便コード	JX0		A(0x41)
Aztec コード	Jzm	0-9, A-C	z(0x7A)
イギリス郵便コード	JX0		B(0x42)
カタール郵便コード	JX0		C(0x43)
中国郵便コード	JX0		Q(0x51)
コダバ (NW7)	JFm	0-1	a(0x61)
コダブ ロック F	JOm	0-1,4-6	q(0x71)
コード 11	JH3		h(0x68)
コード 128	JCm	0-2,4	j(0x6A)
コード 16K	JKm	0-2,4	o(0x6F)
コード 32 ファーマ	JX0		<(0x3C)
コード 39	JAm	0-1,3-5,7	b(0x62)
コード 49	JTm	0-2,4	l(0x6C)
コード 93 & 93i	JGm	0-9, A-Z,a-m	i(0x69)
データマトリクス	Jdm	0-6	w(0x77)
JAN/EAN-13	JE0		d(0x64)
EAN-13 w/拡張ケーホコード	JE3		d(0x64)
JAN/EAN-8	JE4		D(0x44)
GS1 コンポジット	Jem	0-3	y(0x79)
GS1 Databar	Jem	0	y(0x79)
インターリーブド 25	Jlm	0-1,3	e(0x65)
日本郵便コード (カスターバコード)	JX0		J(0x4A)
KIX 郵便コード	JX0		K(0x4B)
韓国郵便コード	JX0		? (0x3F)
マトリクス 25	JX0		m(0x6D)
マキコード	JUm	0-3	x(0x78)
MICR E-13B	JZE		“(0x22)
マイク PDF417	JLm	3-5	R(0x52)
MSI	JMm	0	g(0x67)
OCR-A	Jo1		O(0x4F)
OCR-B	Jo2		O(0x4F)
OCR US Money フォント	Jo3		O(0x4F)
SEMI フォント	Jo3		O(0x4F)
PDF417	JLm	0-2	r(0x72)
Planet コード	JP0		L(0x4C)
Plessey コード	JP0		n(0x6E)
PosiCode	Jpm	0-2	W(0x57)
Postnet	JX0		P(0x50)
QR コード	JQm	0-6	s(0x73)
ストリート 25 IATA	JRm	0-1,3	f(0x66)
TLC39	JL2		T(0x54)
Telepen	JBm	0-2,4	t(0x74)
Trioptic コード	JX0		=(0x3D)
GS1-128	JC1		l(0x49)
UPC-A	JE0		c(0x63)
UPC-A アドオン/UPC-A w/拡張ケーホコード	JE3		c(0x63)
UPC-E, UPC-E1	JE0		E(0x45)
UPC-E アドオン	JE3		E(0x45)
Veri コード	JX0		v(0x76)

A.2 キーボードコード対応表

ファンクションキー対応表 (AT, PS/2, DOS/V)								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0		F11	SP	0	@	P	`	p
1	Enter*	HOME	!	1	A	Q	a	q
2	CAPS LOCK	Print	"	2	B	R	b	r
3	ALT make	BS	#	3	C	S	c	s
4	ALT break	Back TAB	\$	4	D	T	d	t
5	CTRL make	F12	%	5	E	U	e	u
6	CTRL break	F1	&	6	F	V	f	v
7	Enter	F2	'	7	G	W	g	w
8		F3	(	8	H	X	h	x
9	TAB	F4	)	9	I	Y	i	y
A		F5	*	:	J	Z	j	z
B	TAB	F6	+	;	K	[	k	{
C	DEL	F7	,	<	L	¥	l	
D	Enter	F8	-	=	M	]	m	}
E	INS	F9	.	>	N	^	n	~
F	ESC	F10	/	?	O	_	o	

CTRL+ASCII 対応表 (AT, PS/2, DOS/V)								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	CTRL+@	CTRL+P	SP	0	@	P	`	p
1	CTRL+A	CTRL+Q	!	1	A	Q	a	q
2	CTRL+B	CTRL+R	"	2	B	R	b	r
3	CTRL+C	CTRL+S	#	3	C	S	c	s
4	CTRL+D	CTRL+T	\$	4	D	T	d	t
5	CTRL+E	CTRL+U	%	5	E	U	e	u
6	CTRL+F	CTRL+V	&	6	F	V	f	v
7	CTRL+G	CTRL+W	'	7	G	W	g	w
8	CTRL+H	CTRL+X	(	8	H	X	h	x
9	CTRL+I	CTRL+Y	)	9	I	Y	i	y
A	CTRL+J	CTRL+Z	*	:	J	Z	j	z
B	CTRL+K	CTRL+[	+	;	K	[	k	{
C	CTRL+L	CTRL+¥	,	<	L	¥	l	
D	CTRL+M	CTRL+]	-	=	M	]	m	}
E	CTRL+N	CTRL+^	.	>	N	^	n	~
F	CTRL+O	CTRL+-	/	?	O	_	o	

- 太点線で囲まれた部分はファンクションキー及び CTRL+ASCII キーを意味します。これらは一部の機種で正しく動作しない場合があります。
- CR*は、テンキーパッドの ENTER キーを意味します。

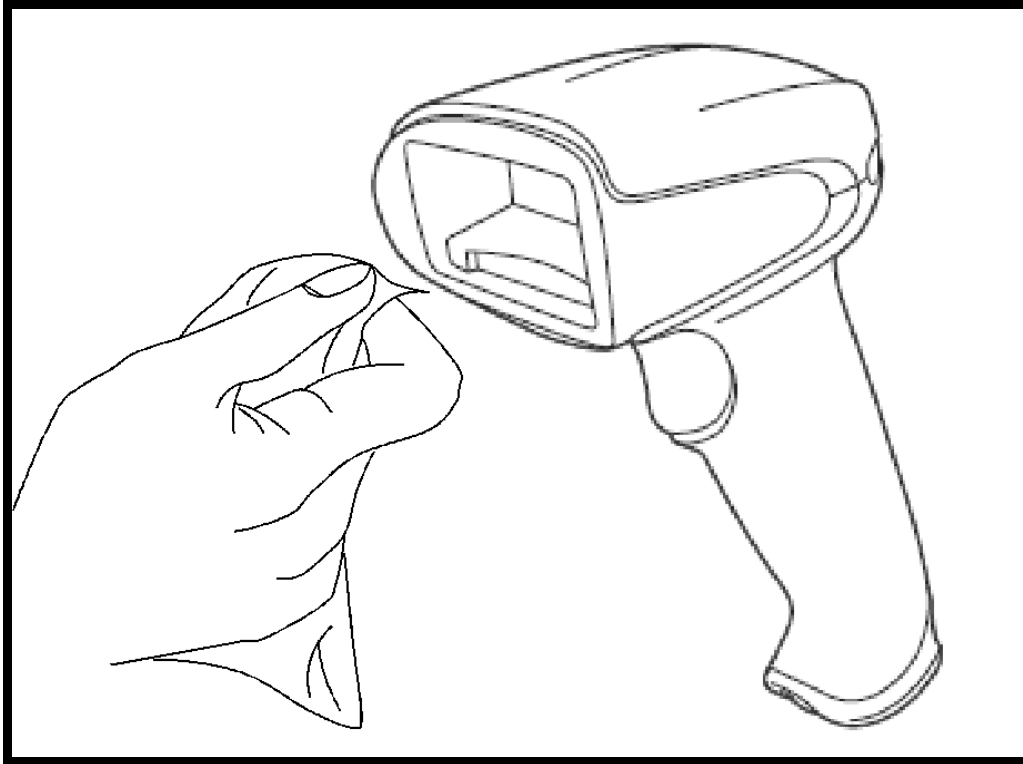
A.3 ASCII コード 表

ASCII コード 表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE

A.4 メンテナンス

読取窓のクリーニング

イメージャの読取窓が汚れていると、コードの読み取りに時間がかかったり、読めなくなる場合があります。定期的にアルコールなどを湿らせた柔らかい布で拭くようにしてください。



A.5 トラブルシューティング

電源が入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- AC アダプタ (RS232C タイプ) は正しく接続されていますか？
- PC の電源 (キーボード / USB タイプ) は入っていますか？

コード (バーコード・二次元コード・OCR フォント) を読み取らない

- 対象のコードの品質は悪くないですか？ 汚れたコード、劣化したプリンターで印刷したコード、複写したコードなど、品質の悪いコードは読取不良や誤読の原因となりますので避けてください。
- 対象のコード種を読み取れるように設定していますか？
- チェックデジットが付加されていないコードに対して、チェックデジット有りと設定していませんか？
- 読取窓は汚れていませんか？

コード (バーコード・二次元コード・OCR フォント) を読み取りづらい

- 対象のコードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いコードは読取不良や誤読の原因となります。
- 読取窓は汚れていませんか？

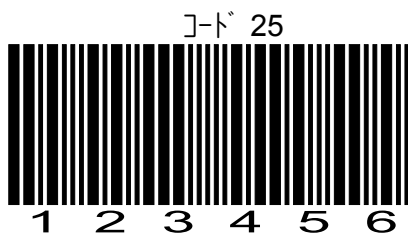
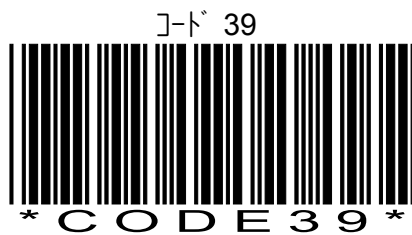
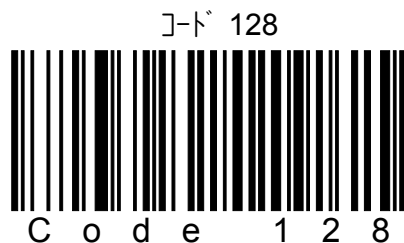
PC にデータが入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- ワイヤレスイメージャとベースステーションのリンクは正しく確立されていますか？
- Bluetooth ドングルと正しく SPP 接続を確立できていますか？
- イメージャの設定は間違っていないですか？
本書「4.2 イメージャの簡単セットアップ」を参考にイメージャの再初期化を行った後、PC の電源を再立ち上げしてください。

症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

A.6 サンプルコード

サンプルバーコード / 二次元コード / 郵便コード / OCR フォント

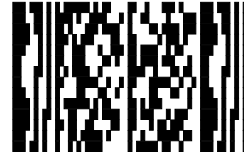


サプアルバコード / 二次元コード / 郵便コード / OCR フォント

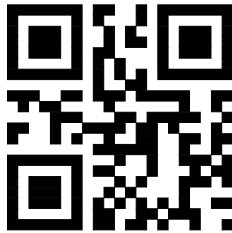
PDF417



マシコ PDF



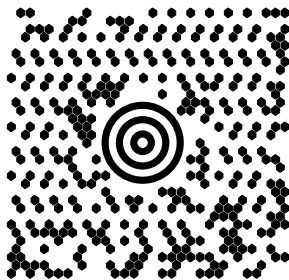
QR



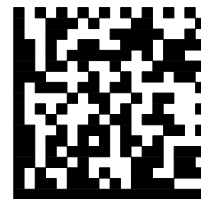
Aztec



マシコード



データマトリクス



日本郵便コード (カヌマバコード)



OCR-B フォント

ISBN4-8169-1489-7

OCR-B フォント

55836540

Blank page

修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てセトリバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		F A X 番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番 (名称)			
製造番号 (S/N)			
付属品	ケーブル[]・A Cアダプタ		
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。 症状発生頻度 : ☐ 常に起こる ☐ 1日に [] 回程度 インターフェイス : ☐ キーボード ☐ RS232C ☐ USB ☐ その他 [] 接続ホスト : メーカー [] 型番 [] その他、使用状況を記入ください。			
返送先			
見積・請求先			
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。			ご確認印

拡大コピーしてお使いください